

葛飾区 特色ある施策・施設の一覧

No.	施策・施設名	主管課
1	大学誘致（東京理科大学）	政策経営部政策企画課
2	金町駅前活動センター（カナマチぷらっと）	政策経営部政策企画課
3	V Rの活用	政策経営部デジタル推進担当課・ 情報システム課
4	業務自動化ツール	政策経営部デジタル推進担当課・ 情報システム課
5	ノーコードツールの活用	政策経営部デジタル推進担当課・ 情報システム課
6	地域活動のデジタル活用支援	政策経営部デジタル推進担当課・ 情報システム課
7	S D G s 推進のための取組	政策経営部S D G s 推進担当課
8	葛飾区総合アプリ	政策経営部情報システム課・デジ タル推進担当課
9	すぐやる活動	総務部すぐやる課
10	「おもてなし」ができる職員の育成	総務部人材育成課
11	公共施設の効果的・効率的な活用	施設部施設管理課
12	ふるさと葛飾盆まつり	地域振興部地域振興課
13	戸籍住民課窓口サービスの改善（総合窓口化）	地域振興部戸籍住民課
14	かつしか文学賞	地域振興部文化国際課
15	葛飾ブランド創出支援事業	産業観光部商工振興課
16	かつしかフードフェスタ	産業観光部商工振興課
17	町工場見本市（産業見本市）	産業観光部商工振興課

No.	施策・施設名	主管課
18	寅さん記念館&山田洋次ミュージアム・TORAsan cafe・山本亭	産業観光部観光課
19	寅さんサミット	産業観光部観光課
20	かつしか花いっぱいのもちづくり	環境部環境課
21	かつしかエコライフプラザ	環境部リサイクル清掃課
22	【高齢者の介護予防事業】うんどう教室	福祉部地域包括ケア担当課
23	【高齢者の介護予防事業】運動習慣推進プラチナ・フィットネス	福祉部地域包括ケア担当課
24	チャレンジ雇用事業	福祉部障害福祉課
25	障害者自主生産品販売所	福祉部障害福祉課
26	オフィスサポーター事業	福祉部障害福祉課
27	社会福祉法人への事業委託による生活保護就労支援事業	福祉部西生活課
28	東京労働局及び墨田公共職業安定所と連携した生活保護受給者等への就労支援事業	福祉部西生活課
29	健康プラザかつしか（「健康部（保健所）」「青戸保健センター」「子ども総合センター」）	健康部地域保健課
30	旧松上小学校跡地を活用した病院誘致（イムス東京葛飾総合病院の開設）	健康部地域保健課
31	子ども未来プラザ鎌倉	子育て支援部育成課
32	子ども総合センター	子育て支援部子ども家庭支援課
33	子育てひろば「いろは」	子育て支援部子ども家庭支援課
34	5歳児健康診査事業	子育て支援部子ども家庭支援課
35	葛飾区都市計画マスタープラン	都市整備部都市計画課

No.	施策・施設名	主管課
36	金町駅周辺の街づくり	都市整備部都市計画課
37	新小岩駅周辺の街づくり	都市整備部都市計画課
38	高砂駅周辺の踏切対策に伴う街づくり	都市整備部都市計画課
39	立石駅周辺地区街づくり	都市整備部都市計画課
40	新宿六丁目地区の街づくり	都市整備部都市計画課
41	堀切地区の街づくり	都市整備部都市計画課
42	防災街づくり（東四つ木、四つ木、東立石、堀切地区）	都市整備部都市計画課
43	地盤の液状化対策	都市整備部建築課
44	都市計画道路の整備	都市整備部道路建設課
45	歩道勾配改善事業	都市整備部道路補修課
46	葛飾区の公園づくり	都市整備部公園課
47	葛飾区科学教育センター「未来わくわく館」	教育委員会指導室
48	ポニースクールかつしか	教育委員会地域教育課
49	葛飾区郷土と天文の博物館	教育委員会生涯学習課
50	かつしか郷土かるた全区競技大会	教育委員会生涯学習課
51	葛飾区東金町運動場スポーツライミングセンター	教育委員会生涯スポーツ課
52	葛飾区立中央図書館	教育委員会中央図書館
53	葛飾区立立石図書館	教育委員会中央図書館

No.	施策・施設名	主管課
54	葛飾区立奥戸地区図書館	教育委員会中央図書館
55	葛飾区立こすげ地区図書館	教育委員会中央図書館
56	葛飾区立にいじゅく地区図書館	教育委員会中央図書館
57	子ども区議会	総務部すぐやる課
58	開かれた議会への取組	区議会事務局

事業概要 (視察項目)	東京理科大学との相互協力
目的	地域の教育力の向上や地域産業の活性化、地域イメージの向上、地域の活力向上など個性豊かで魅力ある街づくりを推進し、あらゆる世代の区民が「元気」で「生き生き」と暮らせるまちを築いていきます。
概要	平成 18 年度からスタートした「基本計画」に大学誘致を位置付け、公募した結果、「東京理科大学」が進出することとなり、平成 25 年 4 月に葛飾キャンパスが開学しました。 大学と公園が一体化したパーク型キャンパスで、図書館は学生だけでなく区民も利用可能であり、地域に開放された施設として、若さあふれる文化と科学の発信地となっています。 区と大学では、基本協定書に基づき、相互の人的・知的・物的資源の交流を図り、双方の発展に寄与するため、相互に協力するものとしています。毎年、協議を行い、教育分野のみならず、街づくり・産業・文化・福祉など様々な分野における協力についての確認を行っています。区が主催する科学体験教室、各種イベントへの教員や学生の参画、大学イベントへの区の協力などを行っています。また、地域イベントへの学生の参画や大学で開催する公開講座への区民参加なども積極的に進めています。 <相互協力事例> 災害協定に基づく協力： 地震、洪水などの水害、その他大規模災害に備えた食料品・生活物資等の提供及び備蓄、大規模災害発生時の駅前滞留者及び帰宅困難者の支援・避難者受入、区職員及び学生・教職員等による救護活動の相互協力など。 教育委員会との協定： 児童生徒の学習活動の支援、教員の養成及び研修に関すること、教育における課題研究への協力、科学啓発活動の支援、生涯学習活動の支援など。 葛飾区における地域包括ケアシステムの推進に向けた共同研究： 区内の日常生活圏域ごとに、高齢者の日常生活を取り巻く現状及び地域の分析を行い、各圏域の特性及び課題を明らかにするとともに、フィールドワークを通してその背景及び要因を洗い出すことで、高齢者を取り巻く各圏域の課題を個別にどのように戦略的に解決すべきかの検証を行う。
担当課	政策経営部 政策企画課 電話 03-5654-8142

事業概要 (視察項目)	金町駅前活動センター（カナマチぷらっと）
目的	様々な世代の人たちが広く活用できる複合施設です。区民の多様な活動及び生涯学習の場を提供することにより、地域の賑わいを創出し、地域の活性化、文化の振興及び区民の福祉向上を図ります。
概要	1 施設概要 所在地：葛飾区金町六丁目5番1号 ベルトーレ金町3階 開館時間：午前9時～午後9時 休館日：年末年始（12月29日から 翌年1月3日まで）、 施設メンテナンス日  2 主な施設 (1) ワーク&スタディ（テレワークブース） テレワークや自学などに利用できるブースです。 (2) 音楽練習室 各種楽器、音響機材を用意しています。楽器の持ち込みも可能です。 (3) 視聴覚室 プロジェクター、大型スクリーンがあり、映画の上映や講演会、ダンス練習などに利用できます。 (4) 料理実習室 IHコンロやオーブン、食器類を取り揃えており、食材をお持ち込みいただくことで自由に料理を楽しめます。 (5) 集会室 会議、講座、研修、説明会、講演会のほか、ヨガ、ストレッチ教室等、多目的に使用できます。 (6) 創作室 工作、木工作、描画等の講座を不定期で開催しています。 (7) キッズスペース 玩具もある広いスペースで楽しく遊べます。乳幼児エリアには授乳室、調乳用ウォーターサーバーを完備。乳幼児のお子様でも安心して遊べます。  <ワーク&スタディ>  <創作室>  <料理実習室>

事業概要 (視察項目)	VRの活用
目的	VRを活用することにより、街づくりなどに係る将来ビジョンをより具体的なものに可視化することで、関係者とのイメージ共有・合意形成の促進を図っています。
概要	【導入年度】 平成30（2018）年度 【内容】 VR（Virtual Reality：仮想現実）とは、現実には存在しないものを実際にあるように見せることができる技術をいいます。この技術を活用することで、すでに存在しているものもとより、これから作り出そうとしている街並みや建物などを三次元のイメージでより具体的にさまざまな角度から可視化することができるようになります。 VRを活用することにより、街づくりなどに係る将来ビジョンをより具体的なものに可視化することで、関係者とのイメージ共有・合意形成のさらなる促進を図っています。 
担当課	政策経営部 デジタル推進担当課 電話 03-5654-8610 情報システム課 電話 03-5654-8130

事業概要 (視察項目)	業務自動化ツール等の活用
目的	RPA（業務自動化ツール）やAI等の活用を進め、業務の効率化や区民サービスの向上に取り組んでいます。
概要	【導入年度】 平成30（2018）年度 【内容】 1 RPAの活用 これまで手作業で行ってきたデータ入力業務を、あらかじめプログラミングしたソフトウェアロボットにより自動化することで、業務効率化を図っています。 主な導入業務 ①源泉精算処理、支出命令 ②支出負担兼支出命令 2 OCRの活用 スキャナを用いて申請書等の紙文書を電子データ化することにより、業務の効率化を図っています。 主な導入業務 ①乳児健康診査、経過観察検診 ②国民健康保険料還付請求書、国民健康保険料督促状 3 RPA及びOCRの連携活用 RPAとOCRを連携して活用し、紙文書の電子データ化からデータ入力までの一連の業務を自動化することにより、業務の効率化を図っています。 主な導入業務 ①保育園等入園申込書、私立幼稚園等補助金請求書 ②介護保険料還付金請求書、介護保険料還付・充当対象者リスト 4 AI AIの活用による問合せへの自動応答や音声の文字化を行い、業務の効率化及び区民サービスの向上を図っています。 主な導入業務 ①24時間自動応答チャットボット（24時間自動応答サービス） ②会議録作成システム（会議音声の自動テキスト化）
担当課	政策経営部 デジタル推進担当課 電話 03-5654-8610 情報システム課 電話 03-5654-8130

事業概要 (視察項目)	ノーコードツールの活用
目的	簡易な仕組みであればニーズに応じて迅速にシステム化を行うことができるノーコードツールを効果的に活用し、区民サービス向上や業務の効率化に取り組んでいます。
概要	【導入年度】 令和3（2021）年度 【主な活用方法】 ノーコードツールは、プログラミング等の専門知識を用いることなくシステムを構築することができるツールで、現在、様々な分野で活用が進んでいます。 簡易な仕組みであればニーズに応じて迅速にシステム化を行うことができるノーコードツールを効果的に活用し、区民サービス向上や業務の効率化に取り組んでいます。 1 区民サービスにおける活用 各種手続等のオンライン申請のツールとして活用し、手続等のオンライン化を推進するほか、今後はオンラインでのアンケートや予約受付のツールとしても活用し、区民サービスの向上を図っていきます。 2 内部管理業務における活用 紙・エクセル等で行っている各種調査や情報管理のデータベース化のツールとして活用し、業務効率化を図っています。
担当課	政策経営部 デジタル推進担当課 電話 03-5654-8610 情報システム課 電話 03-5654-8130

事業概要 (視察項目)	地域活動のデジタル活用支援
目的	地域の様々な活動においてデジタル技術を活用した取組が一層進むよう、地域活動のデジタル化を支援する取組を実施しています。
概要	【開始年度】 令和4（2022）年度 【内容】 ◎地域活動団体デジタル活用助成 - 概要 新たにデジタル技術の活用を進めていこうとする地域活動団体を対象に、機器の購入やWebサービスの利用など導入に係る経費の一部を助成しています。 - 助成対象団体 営利を目的とせず、地域や社会に広く貢献する活動を主に葛飾区内で行う地域活動団体 - 助成対象事業等 対象事業：対象団体が新たに行うデジタル技術を活用した事業 対象経費：対象事業の実施に必要な機器の購入やアプリケーションのライセンス調達、Webサービスの利用等の経費 補助率：対象経費の2分の1 補助上限：7万5千円 ◎出前型地域活動デジタル活用支援講座 - 概要 スマートフォンの操作方法やSNSアプリの活用方法など、知りたい内容を要望に応じて地域に出向いて講座を実施する、出前型のデジタル活用支援講座を実施しています。 - 対象 区内在住・在勤・在学のグループ・団体
担当課	政策経営部 デジタル推進担当課 電話 03-5654-8610 情報システム課 電話 03-5654-8130

事業概要 (視察項目)	SDGs推進のための取組 
目的	区民、事業者等の多様な主体と区が連携し、協働しながら、SDGsが目指す経済・社会・環境の全ての面における発展に向けた取組を進めます。
概要	＜普及啓発＞ ■区民・事業者等に向け、SDGsの啓発活動や区取組の紹介を行っています。広報紙やHP・SNS等での情報発信、区施設でのポスター・のぼり旗等の設置、各種イベントでのSDGsブースの出展（パネル展・リーフレット配布等）など     広報かつしか ポスター パネル リーフレット ■職員のSDGsに関する理解促進・知識定着を図っています。葛飾区版SDGs推進バッジの着用、職員研修の実施、庁内掲示板へのポスター掲示、各課事業等でのSDGsロゴの活用（チラシ作成・封筒作成等）など    葛飾区版SDGs推進バッジ 職員研修 公用車へのステッカー貼付 ＜「葛飾区SDGs宣言」事業〔令和4年7月開始予定〕＞ 事業者等と区が一丸となってSDGsに取り組むため、区内事業者等を対象として、SDGsの実現に貢献する活動の取組事例（「葛飾区SDGs宣言」）を募集し、支援するものです。葛飾区SDGs宣言を応募した事業者等に対して区が「SDGs宣言証」を発行し、ホームページ等で広く発信することにより、事業者等のPRにつなげるとともにSDGsの実現に貢献する活動を更に促進していきます。  ＜（仮称）葛飾区SDGs推進計画＞ SDGsの実現に向けて、全区的な取組を推進していくため、「（仮称）葛飾区SDGs推進計画」を策定します。本計画に基づき、SDGsの実現に向け、職員一人一人が庁内連携を図りながら各施策・事務事業を進めていくとともに、区民、事業者等の多様な主体との連携・協働を更に推し進め、「持続可能な葛飾」を実現していきます。
担当課	政策経営部 SDGs推進担当課 電話 03-5654-8575

事業概要 (視察項目)	自治体アプリ（葛飾区総合アプリ）
目的	スマートフォンの急速な普及により、区民がスマートフォンで情報を取得する機会が増加しています。こうした区民のライフスタイルの変化に対応し、効果的に行政情報を発信していくためのツールとして自治体アプリ（葛飾区総合アプリ）を運用しています。
概要	【開始年度】 平成28（2016）年度 【目的】 区民や来訪者、外国人観光客向けに、さまざまな行政分野の情報を一つのアプリに集約し、情報発信を行っています。 【主なサービス】 「妊娠・子育て」「暮らし」「防災・防犯」「わたしの便利帳/外国人向け生活ハンドブック」等のサービスを提供し、利用者はこの中から自分が利用したい分野を選んで利用します。 【主な機能】 （1）区から発信する各種お知らせを、お気に入りの分野を選んで受信 （2）区が開催する各種イベントをカレンダーで表示 （3）町名と丁目の登録で、自宅の資源とごみの収集日をカレンダー表示 （4）電子母子手帳、予防接種スケジュールなどで妊娠・子育て支援 （5）防災マニュアル、避難場所や洪水ハザードマップなどの表示 （6）資源とごみの品目一覧・検索、ごみ分別ゲーム、かつしかエコチャレンジ・エコマスター （7）観光ツアーコースの案内、観光情報の発信 （8）新小岩モンチッチAR （9）キャプテン翼銅像めぐりスタンプラリー （10）かつしか郷土かるた （11）「ごみ」「戸籍・住民登録」「新型コロナウイルス」「保育」「自転車」に関するチャットボット（自動応答サービス） 
担当課	政策経営部 情報システム課 電話 03-5654-8130 デジタル推進担当課 電話 03-5654-8610

事業概要 (視察項目)	すぐやる活動
目的	区民対応のスピードアップを図るため全庁を挙げて区民第一、現場第一の視点ですぐやる体制の構築を目指す。
概要	＜開始年度＞平成 22 年度 ＜すぐやる課の設置＞ 平成 22 年 4 月に、区民が区役所のどこに相談していいかわからないという場合に、迅速かつ的確に応える窓口として「すぐやる担当課」を設置した。 平成 25 年度からは、区民により覚えやすく親しみやすい「すぐやる課」へと名称を変更した。 平成 29 年度からは、広報課で所管していた「区長へのはがき」や「区民と区長との意見交換会」などの広聴業務もすぐやる課の所管とすることで、さまざまな機会を捉えて区民の声を受け止める業務を一本化した。 ＜すぐやる課の対応＞ すぐやる課が区民から相談を受けた場合、詳しく内容を聴き、区で処理できるケースについては、所管課と連携し早期解決を図っている。 また、ハチやカラスの巣撤去などの危険回避や、現場の状況がわからないケースなどについては、すぐやる課が出動し、現場の状況によって応急処置や所管課への速やかな引き継ぎを行っている。 さらに区で解決できないケースについては、その説明をするとともに、関係機関の紹介や助言などを行い、問題の解決が図れるよう努めている。   ＜相談実績とその傾向＞ 開設から令和 3 年度末までの 12 年間の相談累積は 39,806 件である。 主な相談内容は、ハチに関する相談 8,270 件、道路や放置自転車に関する相談 5,779 件、カラスや犬・猫など生き物に関する相談 3,943 件、ごみ集積所や不法投棄に関する相談 2,142 件で、その他にも様々な分野にわたる相談があり、区の所管ではないケースや所管を特定しにくいケースも多い。 なお、葛飾区公式ホームページに毎月の実績を掲載している。
担当課	総務部　すぐやる課　電話 03-5654-8448

事業概要 (視察項目)	「おもてなし」ができる職員の育成
目的	「葛飾区人材育成基本方針」が求める職員像である『「おもてなし」の意義を理解し、実践できる職員』により、区民から喜ばれ、信頼される職員を育成する。
概要	〈開始年度〉平成 22 年度 〈対 象〉全職員 〈事業概要〉 1 若手職員ハンドブック 働く上で必須の基礎知識及び区民対応に役立つ事柄を事細やかに記載し、平成 25 年度から新任職員に配付。このハンドブックを身近な資料とし、日頃から基礎知識を身に付けたうえで、区民サービスの向上と行政のスピードアップを目指す。 2 新任研修 仕事のための基礎知識 若手職員ハンドブックを利用し、職員としての心構えや仕事の進め方などの基礎知識を学ぶ。 3 新任研修 接客向上研修 接客に対する理解を深め、おもてなしサービスができる職員を育成する。 4 2 年目職員研修 協働研修 区内企業や団体等への協力を通して、区民目線で地域の課題を捉える力を養うとともに区民との協働意識を醸成する。また、区民との信頼関係を築くことで区役所を身近に感じてもらい、区民の協力を得られる区役所をつくる。 5 やさしい日本語研修（全職員・3 年目職員） 外国人をはじめとする様々な区民に対し、分かりやすく伝える日本語の使い方を学び、区民満足の高い対応力を身に付ける。 6 接客向上研修（窓口職場の職員向け） 窓口等で接客をする職員を対象に、区民対応力の向上を図る研修。窓口がハード・ソフト両面で良くなったと区民が実感し、気持ちよく手続きが出来ることを目的とする。 7 職場プロデュース研修 職場単位での研修を支援する事業。窓口職場にとどまらず、区民と接する機会の多い現場職場や、職員の異動により定期的な研修を必要とする職場、おもてなしサービスの向上にチャレンジしている職場への支援を行う。 職場単位での、接客向上研修を実施することで、職場全体での意識統一を図り、接客スキルをより一層向上させる。 若手職員ハンドブック(表紙) 
担当課	総務部 人材育成課 電話 03-5698-2611

事業概要 (視察項目)	公共施設の効果的・効率的な活用
目的	建物の用途を廃止し、未活用となっていた公共施設について、地域の特性を踏まえながら施設の有効活用を図るため、民間事業者のノウハウを活用してリノベーションを行いました。
概要	＜施設概要＞ 所在地：葛飾区柴又7-12-19 建築年度：昭和52年度建築 構造：鉄筋コンクリート造地上4階建 延床面積：約1,680㎡ ＜公共施設オープン・リノベーション推進事業＞ 平成27年度に総務省が実施した「公共施設オープン・リノベーション推進事業」を通じ、民間事業者から施設活用の提案をいただきました。 ＜施設活用の内容＞ 民間事業者の施設活用提案に基づき、旅館業法の規定に基づく宿泊施設にリノベーションしました。区と民間事業者との間で建物の賃貸借契約を締結し、民間事業者が宿泊施設の運営を行っています。 ＜リノベーションの役割分担＞ 宿泊施設にリノベーションするため、区と民間事業者で役割分担をして必要な改修工事を実施しました。区は、宿泊施設として建物を安全に使用するために必要な工事を行い、民間事業者は、宿泊施設を営業するための内装や設備関係の工事を行いました。 【SHIBAMATA FU-TEN Bed and Local】 平成29年3月18日オープン 宿泊施設運営事業者 株式会社R.project 参考URL http://shibamatafuten.com/
担当課	施設部 施設管理課 電話 03-5654-7796

事業概要 (視察項目)	ふるさと葛飾盆まつり
目的	多くの区民に親しまれている盆踊りを通じて区民同士の絆や連帯感、ふるさと葛飾への愛着をさらに深めてもらうとともに、葛飾の良さや魅力を内外に発信するため。
概要	○開始年度 平成29年度（平成29年度は荒天のため中止） ○日時 令和4年9月3日（土） 午後5時～午後9時 （小雨決行） 予備日：令和4年9月4日（日） 午後5時～午後9時 令和元年度開催概要 ○日時 令和元年9月7日（土） 午後2時～午後9時 ○会場 葛飾にいじゅくみらい公園（葛飾区新宿6-3-2） ○主催 葛飾区自治町会連合会・葛飾区 ○実施機関 ふるさと葛飾盆まつり実行委員会 ○実施内容 ・葛飾区内の踊り手たちによる「練り歩き」、練り歩きを審査員が審査し、全ての団体に優劣のつかない賞を授与する「盆踊りコンテスト」 ・やぐらを囲み、輪になって踊る「輪踊り」 ・模擬店等の出店 ○来場者数 約26,000人 ○当日の様子（入場ゲート・模擬店・練り歩き・輪踊り） 令和2年度は新型コロナウイルスの影響で開催を中止した。 令和3年度は現地開催を中止し、「おうちで盆踊り」と題してオンラインによる取組を実施した。審査員が、区民から投稿のあった動画を審査し、入賞動画を専用ホームページで公開した。投稿数は49本、うち入賞者は10団体であった。
担当課	地域振興部 地域振興課 電話 03-5654-8229

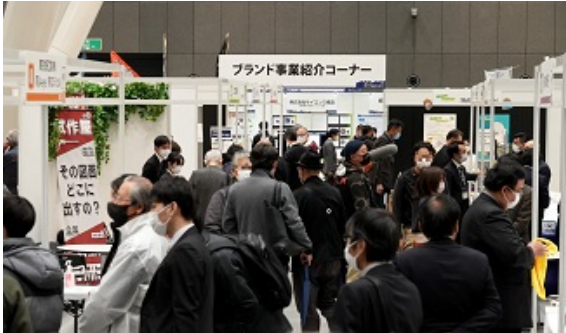
事業概要 (視察項目)	戸籍住民課窓口サービスの改善（総合窓口化）
目的	区民サービス向上のため、来庁した区民が、できる限り少ない窓口で、迅速に手続きを行えるようにする。
概要	1 少ない窓口で手続きを行うための総合窓口化 平成 17 年 8 月から住所異動に伴う国民健康保険、介護保険などの他課所管業務の一部を、それぞれの窓口を回ることなく戸籍住民課窓口一か所で手続きできるようにした。 以後、税証明書の交付や転入に伴う入学手続きなど、取り扱い業務を順次拡大し、平成 24 年 10 月からは出生や住所変更に伴う児童手当の申請、乳児医療証などの交付申請、後期高齢者医療制度の届け出など新たに 5 業務を追加し、現在 18 業務となっている。 2 区民が迷わずに、迅速に手続きを行うための窓口整備 ①分かりやすい窓口 ・ 5 種類の分かりやすい窓口レイアウト ・ 文字の色や大きさなど、ユニバーサルデザインに配慮した案内表示 ・ 案内係（フロアマネージャー）…窓口案内や申請書記入方法を補助 ②少ない待ち時間で手続きできる窓口 ・ 番号発券機…用件に応じた番号札で該当の窓口から順番に呼ぶことにより待ち時間を短縮 ・ 窓口案内表示パネル…音声だけでなくパネルにより呼出し番号を表示 ③プライバシーに配慮した窓口 ・ 仕切りの設置…ローカウンターに間仕切り及び L 字型の目隠しを設置。 ・ 相談ブースの設置…仕切りに囲まれた相談ブースを設置することで特に配慮が必要なケースでも周囲を気にすることなく手続きできる。 
担当課	地域振興部 戸籍住民課 電話 03-5654-8189

事業概要 (視察項目)	かつしか文学賞
目 的	「文化芸術創造のまちかつしか推進事業」として、下町情緒あふれる人情豊かなまち「ふるさと葛飾」の魅力を多くの方々に知っていただくとともに、葛飾から新たな文化を発信していくことを目的に、葛飾区を舞台としたオリジナル文学作品を公募する。入賞作品を作品集として発行するほか、大賞作品を脚本化し、キャスト公募により区民が出演する舞台公演に繋げる。
概 要	1 「第 5 回 かつしか文学賞」 (令和 4 年度～6 年度) 実施中 令和 4 年度 作品公募 (応募期間 : 5 月 1 日～10 月 4 日) 2 「第 4 回 かつしか文学賞」 (令和元年度～4 年度) 実施中 令和元年度 作品公募 (応募総数 116 作品)、受賞作品決定、作品集発行 令和 2 年度 大賞作品「立石ロッキー」を脚本化。キャスト公募・決定 (32 名) 令和 3 年度 新型コロナウイルスの影響により舞台公演を令和 4 年度に延期 令和 4 年度 「立石ロッキー」舞台公演 (かめありリリオホール) 9 月 24 日、25 日公演予定 監修 : 佐藤 B 作、脚本 : シライケイタ、演出 : 永井寛孝 3 「第 3 回 かつしか文学賞」 (平成 28 年度～30 年度) 実績 平成 28 年度 作品公募 (応募総数 124 作品)、受賞作品決定、作品集発行 平成 29 年度 大賞作品「天のこと」を脚本化。キャスト公募・決定 平成 30 年度 「天のこと」舞台公演 (かめありリリオホール) 脚本 : シライケイタ 演出 : 佐藤 B 作 4 「第 2 回 かつしか文学賞」 (平成 25 年度～27 年度) 実績 平成 25 年度 作品公募 (応募総数 163 作品)、受賞作品決定、作品集発行 平成 26 年度 大賞作品「天晴れ オコちゃん」を脚本化。キャスト公募・決定 平成 27 年度 「天晴れ オコちゃん」舞台公演 (かめありリリオホール) 監修 : 佐藤 B 作、脚本・演出 : 中島淳彦 5 「第 1 回 かつしか文学賞」 (平成 22 年度～24 年度) 実績 平成 22 年度 作品公募 (応募総数 169 作品)、受賞作品決定 平成 23 年度 作品集発行、大賞作品「広い空」脚本化、キャスト公募・決定 平成 24 年度 「広い空」舞台公演 (かめありリリオホール) 演出 : 佐藤 B 作、脚本 : 中島淳彦
担当課	地域振興部 文化国際課 電話 : 03-5670-2259

事業概要 (視察項目)	葛飾ブランド創出支援事業
目的	区内製造業者の高い技術を駆使して製造された製品・部品を、葛飾ブランド「葛飾町工場物語」として認定し、その製品等にまつわるエピソードと合わせてストーリー性を持たせPRし、葛飾産製品の販路拡大に結び付けていく。
概要	<開始年度> 平成19年度 <対象> 区内に主な生産拠点を置く事業者が製造する製品・部品・加工技術 <認定数> 5製品程度（令和4年度当初で94製品(部品)・技術を認定） <認定企業への支援> ・見本市や販売会への出展 （国際雑貨EXPO・町工場見本市・葛飾区産業フェア・かつしかミライテラス・葛飾町工場物語区外販売会） ・マンガ版認定品ストーリー集（製品、エピソードを紹介）を発行 ・各地区センター等の区内施設への認定企業パネル展示 <推進体制> ・区と東京商工会議所葛飾支部との共同事業として実施 ・推進協議会、認定審査委員会の設置 <事業日程> 4月 募集（広報紙・ホームページ掲載） 7月 1次審査 8月 最終審査 漫画家公募 10月 認定証授与式（葛飾区産業フェア） 2月 物語集発行 <見本市等出展> 7月 国際雑貨EXPO（東京ビッグサイト） 8月 葛飾町工場物語区外販売会（KITTE） 10月 葛飾区産業フェア（テクノプラザかつしか） 2月 町工場見本市（東京国際フォーラム） 年度内2回 かつしかミライテラス <経費> 約10,935千円 （企業調査委託費、物語集作成費、見本市出展費他）
担当課	産業観光部 商工振興課 電話 03-3838-5587



事業概要 (視察項目)	かつしかフードフェスタ
目 的	葛飾区商店街連合会、葛飾区観光協会等との協働による、「食」をテーマとしたイベント。区内外に葛飾区の「食文化」の魅力を広く発信することで、区内に数多くある飲食業・食品製造業等を支援するとともに、区内商店街の活性化と新たな観光資源の創出を目的としている。
概 要	＜趣 旨＞ 「Re-visit（リビジット：再訪問）」をコンセプトとして、フードフェスタをきっかけに、来場者が出展者の店舗に「再訪問」することを図る。 ＜開始年度＞ 平成 26 年度（平成 25 年度にプレイベントを開催） ＜実施方法＞ 葛飾区フードフェスタ実行委員会主催。実行委員会の構成は、葛飾区・葛飾区商店街連合会・葛飾区観光協会・葛飾区食品衛生協会・東京商工会議所葛飾支部。出展者は公募により決定。 ＜出展資格＞ 葛飾区内に固定店舗を構え、募集業種に対応した営業許可を有していること等。 ＜令和 3 年度実績＞ 開 催 日 令和 3 年 11 月 1 日（月）～30 日（火） 会 場 区内全域 出 展 数 181 店 ※令和 3 年度は新小岩公園での実施ではなく、お客様が参加店舗に足を運ぶ食べ歩き方式で実施。 ＜令和 4 年度予定＞ 開 催 日 令和 4 年 11 月 19 日（土）、20 日（日） 会 場 新小岩公園 出 展 数 50 店 ※今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、開催方法を変更する可能性あり。
担当課	産業観光部 商工振興課 電話 03-3838-5559

事業概要 (視察項目)	町工場見本市（産業見本市）
目的	多種にわたる区内製造業の中小企業を集め、関係団体と協働して区の主催する見本市を区外で開催することにより、区内外の発注企業との商談の機会の充実を図り、新規顧客の開拓を支援する。 また、同時に出展を通じて、企業の商品力の向上、商談スキルの習得、マーケティング力の強化などによる総合的な企業体質強化の支援策として実施する。
概要	<令和4年度の概要（予定）> 1 日 時 令和5年2月16日（木）、17日（金） 2 会 場 東京国際フォーラム ホールE1 （千代田区丸の内3-5-1 JR有楽町駅から徒歩1分） 3 出展予定数 80社（区内70社、区外10社）   <令和3年度実績> 1 日 時 令和4年2月3日（木）、4日（金） 2 会 場 東京国際フォーラム ホールE1 （千代田区丸の内3-5-1 JR有楽町駅から徒歩1分） 3 出展数 60社（区内46社、区外14社） 4 来場数 1,404人（3日 776人、4日 628人）
担当課	産業観光部 商工振興課 電話 03-3838-5587

事業概要 (視察項目)	1 葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム・TORAsan cafe 2 葛飾区山本亭
目的	1 「葛飾柴又寅さん記念館」は葛飾・柴又が全国的に知られるきっかけとなった、日本映画を代表する『男はつらいよ』の業績をとどめ、映画の世界を再現することで、日本人の心のふるさとを感じてもらうとともに、下町情緒あふれる観光拠点として、平成9年に開館。 「山田洋次ミュージアム」は、平成24年にオープン。山田洋次監督の50年の歩みを振り返り、映画づくりへの想い、描いてきた人物像、社会的背景を照らし合わせて鑑賞することができる。 2 「葛飾区山本亭」は地元ゆかりの実業家が、大正末期から昭和初期にかけて増改築した邸宅。その時代の精神を体現した近代和風（和洋折衷）の木造の民家で、趣ある日本庭園は米国の専門誌で日本庭園ランキング3位（2021年）にランクされた。その歴史的価値などから区が譲り受け、平成3年から公開。（東京都選定歴史的建造物・葛飾区登録有形文化財）
概要	「葛飾柴又寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」 1 施設概要 所在地 葛飾区柴又 6-22-19 構造等 葛飾区観光文化センター A棟：RC造地下1階・地上1階建て B棟：地上2階建て 床面積 葛飾柴又寅さん記念館：約530㎡ 山田洋次ミュージアム：約175㎡ TORAsan cafe：約95㎡ 光庭：約365㎡ 他に休憩室等 2 開館時間・休館日・入館料 開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第3火曜日（第3火曜日が祝日の場合は直後の平日）及び12月の第3火曜日～木曜日（令和4年は12月20日～22日） 入館料（両館共通） 一般500円、小中学生300円、他に団体、シニア割引あり（山本亭とのセット割引あり） 3 展示物のリニューアルについて 定期的な展示物の入替えを行うことで、新たな魅力を付加し、来館者に繰返し訪れていただける仕掛けをしている。直近では、令和4年4月にリニューアルオープン。 《主なリニューアル内容》 葛飾柴又寅さん記念館…プロローグを刷新し、新たに映像演出を導入 山田洋次ミュージアム…松竹大船撮影所ジオラマの導入 その他…展示物を活用した「謎解きゲーム」の導入（別途有料）  葛飾柴又寅さん記念館©松竹樹  山田洋次ミュージアム©松竹樹 「葛飾区 山本亭」 1 施設概要 所在地 葛飾区柴又 7-19-32 構造等 木造（一部2階建て） 床面積 居宅550㎡、日本庭園890㎡、茶室53㎡ 2 開館時間・休館日・入館料 開館時間 午前9時～午後5時 休館日 第3火曜日（第3火曜日が祝日の場合は直後の平日）及び12月の第3火曜日～木曜日（令和4年は12月20日～22日） 入館料 一般100円、中学生以下無料（寅さん記念館とのセット割引あり）（茶室の貸切り利用もあります。居室の貸切り利用は現在休止中です） 
担当課	産業観光部 観光課 電話 03-3838-5558

事業概要 (視察項目)	寅さんサミット
目的	～日本の原風景を守り、後世に伝える～をテーマに、映画『男はつらいよ』のロケ地となった各地域が大切にしている風景や文化、産業、民族芸能などの地域資源を披露し、その価値や魅力を発信するとともに、相互の交流などを通じて、各地域の活性化に貢献する。
概要	テーマ：日本の原風景を守り、後世に伝える 開催日：令和4年10月29日（土）、30日（日）（予定） 会場：帝釈天参道、特設会場（柴又7-9）、 葛飾柴又寅さん記念館 ほか 参加自治体数：20 地域程度 （2021 年：24 地域※公式 HP 上での PR 含む） 主催者：寅さんサミット実行委員会 イベント概要（予定） ○サミット ～日本の原風景について考える～ ・各ロケ地の紹介・PR ○文化交流イベント ～各地の文化に触れる～ ・参加する各地域ならではの文化・芸能・舞踊の紹介 ○産業交流イベント ～各地の名産品・グルメを楽しむ～ ・名品・特産品の展示、販売 ・コラボメニューの開発・販売 ○おもてなしイベント ～映画『男はつらいよ』の世界を楽しむ～ ・寅さんサミット2022 オリジナル缶バッジの作成 ※ 写真は2019年の様子
担当課	産業観光部 観光課 電話 03-3838-5558

事業概要 (視察項目)	かつしか花いっぱいのまちづくり
目的	花いっぱいの活動を区民・団体・事業者・区が協働で進める「まちづくり」「コミュニティの形成」
概要	本区では基本計画の重要プロジェクトの一つとして「花いっぱいのまちづくり」を推進しています。 駅前や公園、道路や公共施設など多くの人が自由に往来する場所で、花壇やコンテナ、ハンギングバスケットなど、様々な方法で花を育てる活動が行われています。区では、地域の人々の目に触れる公開性のある場所で緑と花を育てる活動を行う団体には、花苗、種、球根等を配布するなど様々な支援を行っています。 区民、団体、事業者及び区が、相互に連携・協働のパートナーとして活動する仕組みをつくり、花いっぱいのまちづくり活動の拡大及び活性化を図ることを目的として、「かつしか花いっぱいのまちづくり推進協議会」を平成 26 年 9 月に発足しました。協議会では、公共空間への花の新たな展開を具体化するため、プロジェクトチームを平成 28 年 4 月に立ち上げ、ローコストでローメンテナンスな新たな展開方法「立体型花壇フラワーメリーゴーランド」を考案しました。令和 4 年 4 月現在区内の駅前や公共施設等に 51 基設置しています。 また、区内の花いっぱいのまちづくり活動を紹介するため、平成 27 年 4 月に花いっぱいのまちづくりホームページを開設いたしました。コンテンツは活動団体が投稿するだけでなく、ボランティアの「花いっぱいレポーター」が取材を行い更新しています。  葛飾区役所中庭機械棟 2 階 「緑と花のいこいガーデン」  J R 亀有駅南口に設置した フラワーメリーゴーランド 花いっぱいのまちづくりホームページ U R L https://www.hanaichi-katsushika.jp/ 
担当課	環境部 環境課 電話 03-5654-8239

事業概要 (視察項目)	かつしかエコライフプラザ
目的	区民や事業者がより主体的・積極的にエコライフや3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）に取り組むため情報提供、学習、実践、活動、人材育成の拠点として開設（立石図書館との複合施設）
概要	＜施設開設日＞平成 23 年 6 月 30 日 ＜延床面積＞2,478 m²（建物全体） ＜施設の特徴＞屋上緑化・壁面緑化・太陽光発電システム（屋上）・雨水利用（トイレ洗浄水・樹木散水） ＜事業概要＞ ①リユース家具展示・販売コーナー 粗大ごみとして出された家具の中から使えるものを修理して、展示・販売を行う。また、食品ロス削減を目的として、フードドライブの常設窓口を設置。 ②日用不用品販売コーナー 区民から無償提供を受けた新品同様の日用品（衣類・小物など）の展示・販売及び区オリジナル再生品（トイレットペーパー）の販売 ③エコ校房 不要となったものを再生利用するための講座や、廃材等を使った工作教室の実施 ④研修室 講座、講演会の実施のほか、登録団体や一般の方への貸し出しも行います（有料・定員 100 名） ⑤展示・学習コーナー 環境や3Rに関するパネル展示、分別ゲームや発電装置等による体験型の展示 ⑥環境・3R情報コーナー 環境やごみ減量に関する書籍、映像資料を備えています。
担当課	環境部 リサイクル清掃課 電話 03-5654-8273

事業概要 (視察項目)	うんどう教室
目 的	公園に設置した専用の器具を使用して、「つまずいたり」「ふらついたり」することを予防するための運動を行いながら、習慣づけをしていく。 「うんどう教室」を自主運営するために、地域指導員の養成及びスキルアップを行う。
概 要	<開始年度> 平成 23 年度 <実施日時・開催場所> ・ 毎月 2 回、1 時間 ① 高砂北公園 ② お花茶屋公園 ③ 東金町四丁目平成公園 ④ 間栗公園 ⑤ 青戸平和公園 ※①～③は午前、④⑤は午後開催 ※地域指導員を中心とした自主運営 <募集定員> 定員上限なし・自由参加 <地域指導員の養成とスキルアップ> ・ 地域指導員養成講座 うんどう教室を自主運営するため、委託により隔年で実施する。区が参加者を募集し、講習と実技指導（8 回）を行う。（令和 3 年度は実施なし、4 年度は実施予定） ・ 地域指導員スキルアップ講座 各公園 4 回ずつ、地域指導員を対象に専門指導員によるスキルアップ講座を実施する。うち 1 回は参加者及び地域指導員の体力測定を行う。 <令和 4 年度経費> 地域指導員スキルアップ講座委託 440 千円×5 公園 計 2,200 千円 地域指導員養成講座委託 660 千円 事業用消耗品 9 千円 <課 題> 1 新型コロナウイルス感染拡大による参加者の減少 2 地域指導員の高齢化 3 うんどう器具の劣化や破損による修繕対応 
担当課	福祉部 地域包括ケア担当課 介護予防係 電話 03-5698-6202

事業概要 (視察項目)	運動習慣推進プラチナ・フィットネス
目的	一人でも多くの高齢者が自発的に運動に取り組むことで、要支援・要介護状態になることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を送れるようにする
概要	本事業は、区内のフィットネスクラブ（9施設）との協働により、本区が独自に実施しているものである。 ＜開始年度＞ 平成 25 年度 ＜対象者＞ 要支援・介護認定を受けていない 65 歳以上の区民 （医師から運動を禁止されている者を除く。） ＜内 容＞ 運動は、原則毎週 1 回、全 12 回のコース制で、インストラクターの指導のもとに運動に取り組む。  （写真はイメージです） ＜特 徴＞ （１）どんな運動にどれくらい取り組むかは、高齢者自身が自分の興味や体力に合わせ、インストラクターと相談して決める （２）最初に選んだ運動メニューが合わない場合、途中で変更することが可能 （３）フィットネスクラブを利用する日にちや時間は、高齢者自身が決める （４）フィットネスクラブの附帯設備（ロッカー、お風呂など）の利用が可能 （５）利用料の 3 分の 2 を区が補助（本人負担：6,000 円（全 12 回分）） （６）事業の利用は、同一年度内 1 人 1 度限り（平成 30 年度以降） ＜令和 3 年度実績＞ （１）利用者総数 186 人 （２）補助金交付実績 1,716 千円 ＜令和 4 年度予算＞ 経費 3,000 千円（補助金のみ） ＜その他＞ 利用者の利便性を図るため、往復はがき、区役所内の高齢者支援課窓口や高齢者総合相談センター（14 か所）、主管課が所在するシニア活動支援センター窓口で申込みを受け付けている。 利用期間については週 1 回、3 か月間で 12 回の利用を原則としていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を勘案し、年度内の翌年 2 月末までに緩和した。
担当課	福祉部 地域包括ケア担当課 介護予防係 電話 03-5698-6202

事業概要 (視察項目)	チャレンジ雇用事業
目的	知的障害又は精神障害のある方を会計年度任用職員として雇用し、そこで就労支援専門員が作成する「個別支援プログラム」に基づき、区役所の各部署から依頼された仕事や作業を通じて経験や技能を高める。最終的に、一般企業に就職することを目的としている。
概要	＜開始年度＞ 平成 23 年 4 月 ＜対象＞3 つの項目すべてに該当する人 ① 葛飾区内在住で愛の手帳（東京都療育手帳）か精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている。 * 精神保健福祉手帳所持者については、主治医の就労に関する意見書が必要。 ② 採用後、葛飾区障害者就労支援センターの支援を受け、就労を目指す意思がある。 ③ 一般就労を目指し、単独で通勤（移動）ができる。 ＜身分＞ 会計年度任用職員 ＜採用人数＞ 5 人 ＜雇用期間＞ 1 年以内（勤務状況を勘案し、更新。） ＜勤務場所＞ ウィメンズパル 2 階のチャレンジ雇用事業事務所に出勤し作業を行う。また、依頼内容により葛飾区役所などの区内庁舎で業務にあたる。 ＜勤務日及び勤務時間＞ 月曜日から金曜日（土・日・祝・年末年始休み） 5 時間勤務（9 時 30 分～15 時 30 分） 休憩時間 60 分（12 時～13 時） ＜主な業務内容＞ 葛飾区役所内の各課より作業依頼を受け事務補助作業を行っている。業務を通じ仕事（作業）への適性を把握し、ビジネスマナーを覚え就職に必要な技術が身につけられるよう、ジョブコーチ役の就労支援専門員の支援を受け、一般就労に向けて取り組んでいる。 (1) 作業活動 封筒折り、ゴム印押し、資料組み、宛名シール貼り、印刷・製本、封入封緘、庁用車清掃、会議会場設営、訂正シール貼り等 (2) 求職活動 ① ハローワークへ行き、自分に合った求人情報の検索 ② 合同面接会参加や求人広告等による求職活動 (3) 企業実習等 事務系、清掃系、軽作業系等 1～2 週間の実習を実施。 パソコン講座等就労準備講座や東京しごと財団の就活セミナーへ参加 ＜一般就労実績＞ 令和元年度 0 人 令和 2 年度 1 人 令和 3 年度 2 人
担当課	福祉部 障害福祉課 就労支援係 電話 03-3695-2224

事業概要 (視察項目)	障害者自主生産品販売所
目的	各障害者施設では様々な自主生産品を作っており、各施設の一角に設けられた販売所や区役所販売会等のイベントで販売を行い、一定の売上を得ている。 このことを踏まえ、自主生産品の販売網を拡大し、売上を伸ばすことで、障害者施設利用者の工賃引き上げや、地域住民との交流の場の確保等を目的として、販売所を設置した。 また、就労に向けた実習や訓練をする場となる中間的就労の場等としても販売所を活用している。
概要	＜開設年月日＞ 平成 20 年 7 月 1 日 ＜名称＞ +choice（ぷらすちょいす） ＜運営主体＞ 自主生産品販売所協議会 ＜店舗運営＞ NPO 法人「未来空間ぽむぽむ」 ＜場所＞ 葛飾区青戸 5 - 14 - 5 青山マンション 102 号 （京成線青砥駅徒歩 5 分） ＜店舗形式＞ 自主生産品販売コーナー 喫茶コーナー ＜主な商品＞ パン、洋菓子、クッキー どら焼き、ハーブティー、ビーズ製品、 アクセサリ、雑貨、ハーバリウム、レトルト食品等 ＜運営内容＞ 【営業時間】 平日 午前 11 時から午後 5 時 30 分 【定休日】 土曜、日曜、祝日、年末年始 ＜実施内容等＞ ・販売所の運営にあたる「自主生産品販売所協議会」は区内障害者施設を運営する法人の代表 8 人で構成されており、区内障害者施設全体で自主生産品販売所を運営している。 ・店舗内に喫茶コーナーを設け、自主生産品をその場で食べられるようにしている。 また、軽飲食ができるようにしたことで、近隣の区民の方の憩いの場として活用されている。 ＜事業の成果＞ ・ぷらすちょいすの店舗に加え、平成 30 年 11 月からは区役所 2 階区民ホールにて出張販売を開始した。障害者施設の営業努力などにより、令和 3 年度は 850 万円の売り上げがあった。 ・今後も、ぷらすちょいすの更なる知名度アップと販路拡大に努めていく。
担当課	福祉部 障害福祉課 就労支援係 電話 03-3695-2224

事業概要 (視察項目)	オフィスサポーター事業
目的	身体障害、知的障害及び精神障害のある方を会計年度任用職員として雇用し、区役所の各部署から依頼された仕事や作業を行う。支援員として職員 3 名を配置し、日々の業務に関することや本人の体調の把握も行い、安定的に仕事ができるようにしている。
概要	＜開始年度＞ 平成 31 年 4 月 1 日 ＜対象＞ 次の (1) 及び (2) の条件を満たす方。 (1) 以下の①～④のいずれかに該当する方。 ① 身体障害者手帳の交付を受けている。 ② 療育手帳の交付を受けている。 ③ 知的障害者更生相談所、児童相談所、精神保健福祉センター等により知的障害者であると判定された。 ④ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている。 (2) 安定して勤務することができる方。 ＜身分＞ 会計年度任用職員 ＜任用者数＞ 16 人（令和 4 年 4 月 1 日現在） ＜雇用期間＞ 1 年以内（勤務状況を勘案し更新。再度の任用については上限 4 回） ＜勤務場所＞  ウィメンズパル 2 階の障害者就労支援センター及び人事課人事係等に出勤し作業を行う。また、依頼内容により葛飾区役所などの区内庁舎で業務にあたる。 ＜勤務日及び勤務時間＞ 月曜日から金曜日（土・日・祝・年末年始休み） 週 30 時間（1 日 6 時間）勤務 原則、9 時 30 分から 16 時 30 分まで（うち休憩 1 時間） ※原則として時間外勤務はなし。  ＜主な業務内容＞ 葛飾区役所内の各課より作業依頼を受け、支援員見守りのもと事務補助作業を行っている。 自分たちで業務の効率化を考え、工夫しながら納期に間に合うように取り組んでいる。 ＜作業活動＞ 封筒折り、ゴム印押し、資料組み、宛名シール貼り、印刷・製本、封入封緘、学校用務補助、庁用車清掃、会議会場設営、訂正シール貼り、誕生日カード色塗り、雑巾縫い、データ入力等 ＜周知方法＞ 区役所職員向け掲示板へ作業依頼募集の掲載。各課職員への PR 活動。
担当課	総務部 人事課 人事係 電話 03-5654-8151 福祉部 障害福祉課 就労支援係 電話 03-3695-2224

事業概要 (視察項目)	社会福祉法人への事業委託による生活保護受給者就労支援事業				
目的	稼働年齢層（１８歳から６５歳未満の者）の生活保護受給者のうち、疾病や障害など就労阻害要因がないにもかかわらず、就労意欲や就労に関する能力に課題がある方に、専門性をもつ社会福祉法人が個別的な支援を行い就労に結び付ける。				
概要	＜事業開始時期＞ 平成２３年６月				
	＜支援対象者の選定＞ (１) 一次アセスメント 区は稼働年齢層にある方について、就労の可否に関する一次アセスメントを実施し、就労の可能性がある方には、委託による二次アセスメントを実施する。 (２) 二次アセスメント 受託者は、対象者と個別面接を行い、職歴や健康状態などを聞き取り、対象者の課題を把握し、対象者に応じた支援方針、支援方法、支援目標を区に提案する。 (３) 支援対象者の決定 区は、二次アセスメントの結果を踏まえ、本人の同意を得たうえで、委託による支援対象者を選定する。				
	＜支援の流れ＞ 受託者は次に掲げるプログラムを適切に組み合わせ、支援対象者個々の状況に即して支援を実施する。				
	(１) 支援プログラム ① 履歴書・職務経歴書作成講座 ② 職場におけるルール講座 ③ 定期面談・職業カウンセリング ④ ハローワークの利用方法の講習 ⑤ 模擬面接 ⑥ 職場体験講習 ⑦ 訪問相談等 (２) 求職活動支援 プログラムを活用し、就職の準備が整った対象者に、ハローワークなどへの同行支援を行い、１週間に３度を目途とする求職活動の支援を行う。 (３) 就職者の職場定着にむけた面談 就職を決定した者には１週間後、１ヶ月後、３ヶ月後に職場定着を目的とした面談を行う。				
	＜支援期間＞ ３か月を基本とし、目標が未達成の場合さらに３か月の延長を行う。				
	＜事業実績＞				
	年度	二次アセスメント 実施者数	就労支援者数	就労者数	就労して保護廃止 になった人数
	元	１４８人	１１７人	３９人(３６人)	３人
	２	８４人	７８人	２０人(２０人)	１人
	３	７６人	７３人	２０人(２０人)	２人
	＊ 就労支援者数及び就労者数は延べ人数。就労者数の（ ）内は実人員				
担当課	福祉部 西生活課 西生活担当係 電話 03-5654-8586				



事業概要 (視察項目)	東京労働局及び墨田公共職業安定所と連携した生活保護受給者等への就労支援事業																																							
目的	東京労働局及び墨田公共職業安定所（ハローワーク墨田）と葛飾区との連携により、求人情報の提供、職業紹介、職業訓練の斡旋等を実施する窓口を葛飾区役所内に設置し、生活保護受給者等の就労促進を図っている。																																							
概要	<事業開始時期> 平成25年8月																																							
	<設置施設及び場所> (1) 設置施設 就職支援コーナーかつしか (2) 設置場所 葛飾区立石五丁目13番1号 葛飾区役所本庁舎 4階 (3) 開設時間 月～金曜日 9時～17時 (区役所開庁日のみ)																																							
	<支援対象者> (1) 生活保護受給者及び生活保護の相談・申請段階にある者 (2) 住居確保給付金受給者及び住居確保給付金の相談・申請段階にある者 (3) 児童扶養手当の受給者及び児童扶養手当の相談・申請段階にある者 (4) 生活困窮者自立相談支援事業の利用者 (5) 高齢者、障害者及び若年者等の生活困窮者																																							
	<就労支援体制> (1) 葛飾区 ① 就労支援専門員（生活課）・・・ 4人 ② 就労意欲喚起事業受託者の支援員（生活課）・・・ 5人 ※ その他、生活課査察指導員、ケースワーカーも就労支援を行っている。 ③ 自立相談支援員（福祉管理課）・・・ 9人 ④ ひとり親家庭就労専門相談員（子育て支援課）・・・ 1人 (2) 墨田公共職業安定所（ハローワーク墨田） ① 就職支援ナビゲーター・・・ 2人																																							
	<支援の流れ> (1) 支援対象者の中から葛飾区の職員が稼働能力・就労意欲がある者を選定し「就職支援コーナーかつしか」へ案内する。 (2) 就職支援ナビゲーターは、支援対象者の個々のニーズに合わせた求人情報の提供、職業紹介、職業訓練の斡旋等を実施し、早期就職に向けた支援を行う。																																							
	<事業実績>			【求人情報検索中の利用者】																																				
	<table><tr><th rowspan="2">年度</th><th colspan="3">目標</th><th colspan="3">実績</th></tr><tr><th>対象者数</th><th>就職者数</th><th>就職率</th><th>対象者数</th><th>就職者数</th><th>就職率</th></tr><tr><td>令和 元</td><td>210人</td><td>141人</td><td>67.0%</td><td>182人</td><td>141人</td><td>77.5%</td></tr><tr><td>令和 2</td><td>200人</td><td>134人</td><td>67.0%</td><td>207人</td><td>139人</td><td>67.1%</td></tr><tr><td>令和 3</td><td>200人</td><td>134人</td><td>67.0%</td><td>200人</td><td>139人</td><td>69.5%</td></tr></table>						年度	目標			実績			対象者数	就職者数	就職率	対象者数	就職者数	就職率	令和 元	210人	141人	67.0%	182人	141人	77.5%	令和 2	200人	134人	67.0%	207人	139人	67.1%	令和 3	200人	134人	67.0%	200人	139人	69.5%
年度	目標			実績																																				
	対象者数	就職者数	就職率	対象者数	就職者数	就職率																																		
令和 元	210人	141人	67.0%	182人	141人	77.5%																																		
令和 2	200人	134人	67.0%	207人	139人	67.1%																																		
令和 3	200人	134人	67.0%	200人	139人	69.5%																																		
担当課	福祉部 西生活課 西生活担当係 電話 03-5654-8586																																							

事業概要 (視察項目)	健康プラザかつしか（「健康部（保健所）」「青戸保健センター」「子ども総合センター」）
目的	福祉分野・保健分野・衛生分野のサービスを複合的に提供し、地域の方々が健康で安心な生活を送れるよう支援する。「健康部（保健所）」「青戸保健センター」「子ども総合センター」の複合施設である。
概要	【１階】 ～親と子の子育てと健康に関わるフロア～ ○子育てひろば 乳幼児と親が気軽に集い、相談、学びあい、情報交換を行える場です。 ○親子カフェ 乳幼児と親をはじめ、来館された方が気軽に立ち寄れる喫茶コーナーです。 ○健診エリア（診察室・計測室・予診室・歯科室・相談室） 主に乳幼児の健診を行っており、育児相談日には、個室でゆっくりとお話をうかがうこともできます。待ち時間には広々とした明るい待合ロビーで、ゆったりと過ごしていただくことができます。 ○小ホール 各種講演会や健康教育、保健指導などを実施します。 【２階】 ～健康プラザの事務機能が集まるフロア～ <健康部（保健所）>…地域保健課、生活衛生課、健康づくり課、保健予防課（全て２階） ○地域保健課 電話 03-3602-1231 保健衛生行政の企画、施設の維持管理や休日応急診療所など、地域医療を担当しています。 ○生活衛生課 電話 03-3602-1242 食の安全に関すること、犬や猫等の動物に関すること、害虫やねずみの駆除等の生活環境の衛生に関すること、薬局・診療所に関する業務を担当しています。 ○健康づくり課 電話 03-3602-1268 健康診査、がん検診、受動喫煙対策、食育推進、健康づくり、生活習慣病や歯科疾患の予防のための健康教育を担当しています。 ○保健予防課 電話 03-3602-1274 自立支援医療、精神障害者福祉手帳、難病医療費助成・手当、結核・感染症対策、予防接種に関することを担当しています。 ○健診エリア（X線室・診察室・検査室） 結核検診、乳がん検診など主に成人の健診を行っています。



＜青戸保健センター＞

○青戸保健センター 電話 03-3602-1284

葛飾区ゆりかご面接（妊婦面接）、乳幼児の健康診査ならびに育児相談、2か月児の会・育児学級、精神保健、難病対策、地域の健康づくりを担当しています。

＜子ども総合センター＞…子育てひろば（1階）、親子カフェ（1階）、子ども家庭支援課（2階）

○子ども家庭支援課 電話 03-3602-1386

福祉専門の相談員と保健所職員が連携しながら、妊娠・出産から子どもの成長に合わせた、子どもと家庭の総合的な支援を行います。

【3階】 ～イベントを行う大きなホールのあるフロア～

○大ホール・円形ホール

同じ月齢のお子さんをもつ親子が集まる育児グループや母親学級など、親子の健康をテーマにした催しに力を入れています。

○栄養室

ライフステージに応じた、食と栄養を考える教室や講座を行います。妊娠中の食事、乳児の離乳食、生活習慣病予防のための食生活などについて調理実習や試食をまじえ実施します。



担当課

健康部 地域保健課 電話 03-3602-1231

事業概要 (視察項目)	旧松上小学校跡地を活用した病院誘致 (イムス東京葛飾総合病院の開設)
目的	超高齢社会を迎える中で、今後の医療ニーズの増加に対応するため、より強固な地域医療の連携体制を構築し、区民が必要とする医療を継続的に安定して受けられるよう、区内医療環境の充実を図ります。
概要	＜開設年月日＞ 平成 29 年 5 月 1 日 「基本計画（平成 25 年度～平成 34 年度）」の重要プロジェクトの一つである「区内医療環境の充実」を図る取組みの一環として、公募により、旧松上小学校跡地に民設民営の病院誘致を行いました。 ＜病院誘致の経緯＞ ・平成 24 年度 区内の医療需給状況等の調査を実施 ・平成 25 年 4 月 東京都保健医療計画の改定により、区東北部二次保健医療圏における病床数の 642 床の不足 ・平成 25 年 6 月～ 「旧松上小学校跡地を活用した病院誘致公募」を実施 ・平成 25 年 10 月 4 日 区と公募で最優秀提案者となった医療法人社団明芳会が、新病院開設に向けた覚書を締結 ・平成 26 年 3 月 24 日 区と明芳会にて、病院の整備及び運営に関する基本協定を締結 ・平成 26 年 8 月～ 旧松上小学校校舎などの解体工事（区実施） ・平成 27 年 6 月 1 日 区と明芳会との「定期借地権設定契約書」に基づき、明芳会に土地を貸与 ・平成 27 年 10 月～平成 29 年 3 月 新病院建設準備工事・本体工事（明芳会実施） ・平成 29 年 3 月 新病院竣工 ・平成 29 年 5 月 1 日 イムス東京葛飾総合病院開設 ＜病院施設概要＞ ○名称：イムス東京葛飾総合病院 ○所在地：葛飾区西新小岩 4-18-1 ○敷地面積：9,771.52 m² ○延床面積：15,354.18 m² ○階数：地上 9 階 地下なし ○病床数：227 床（新病院確保分 133 床、区内で同法人が運営する新葛飾病院からの移設分 94 床。開設後も 300 床以上を目指す。） ○診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科、救急科、眼科、小児科、アレルギー科、糖尿病内科、腎臓内科、形成外科（開設後も診療科目の拡充に努める。） ○開設・運営：医療法人社団明芳会  
担当課	健康部 地域保健課 電話 03-3602-1231

事業概要 (視察項目)	子ども未来プラザ鎌倉
目的	葛飾区では、「葛飾区版ネウボラ」を推進し、妊娠期から子どもが成人するまで一貫したサポートを実施しています。子ども未来プラザ鎌倉は、葛飾区版ネウボラ推進の一翼を担う妊娠期からの切れ目ない子育て支援の身近な施設として、妊娠期の親から高校生世代までの子どもが利用できる子育て支援の施設として 2020 年 1 月に開設した施設です。
概要	子ども未来プラザ鎌倉で行っている主な事業等は以下のとおりです。 <ゆりかご葛飾> 母子健康手帳の交付とともに子育て相談員による妊娠・出産の様々な相談をお受けする「ゆりかご面接」を行っています。 <乳幼児健診と健康教室> 3～4 か月児健診、ハッピーバースデイすくすく歯科健診(1 歳)、1 歳 6 か月児健診、3 歳児健診、2 か月児の会、育児学級 5 か月)などを保健センターから出張して行います。 <すくすく広場> すくすくルームで楽しく遊んで過ごすことができます。ふれあい遊びや体操、年齢別グループ活動、のびのび相談なども行っています。 <いっとき預かり◆ぱんだ◆> 保育園や幼稚園に通っていない在宅のお子さんをお預かりします。 <給食体験◆もぐもぐランチ◆> 温かい保育園の給食を親子で楽しく食べることができます。 <交流保育◆笑みフル◆> 発達に心配や不安のあるお子さんを対象に、保育園の集団生活の場を提供します。 <あそびの広場> 工作や読書、ボードゲームなどをして友達と楽しく過ごすことができます。 <まなびの広場> 勉強や自分の好きなことを調べるところです。分からないことは、スタッフのお兄さんお姉さんが、やさしく、分かりやすく教えてくれます。 <南鎌倉保育園> ・ 保育時間：午前 7 時 15 分～午後 7 時 15 分 ・ 特別事業：延長保育、障がい児保育、0 歳予約入園、緊急一時保育など 【施設概要】 所 在 地：葛飾区鎌倉 1-7-3 電話：03-3658-1800 (代表) 開館時間：午前 9 時～午後 8 時 (日曜日・祝日、小学生以下は午後 6 時まで) 休 館 日：第 4 日曜日、年末年始  外観  すくすくルーム
担当課	子育て支援部 育成課 電話 03-5654-8293

事業概要 (視察項目)	子ども総合センター
目的	福祉分野と保健分野が連携して、妊娠・出産から子どもの成長に合わせた子どもと家庭の総合的な支援を行う。
概要	—子どもと家庭の総合相談— 電話 03-3602-1386（月～土曜日） 区内に住む 18 歳未満のお子さんとその家庭に関する相談について、相談者のお話を伺いながら一緒に考え、問題解決に向けてお手伝いします。 「子育てについて」 * 育児に不安や負担を感じている。 * 子どもを怒鳴ったり叩いてしまう。 * 子育てについて家族の理解や協力が得られない。 など 「お子さん自身について」 * 家に帰りたくない。 * 学校に行きたくない。 * いじめがある。 など 「情報について」 * 子育て支援に関すること など 「近隣家庭について」 * 激しい怒鳴り声や子どもの泣き叫ぶ声が頻繁に聞こえる。 * 小さな子どもだけでいつも遊んでいる。 * 子どもに不自然な傷がある。 など —子どもの発達相談— 電話 03-3602-1388（月～金曜日） 小学校入学前までのお子さんの発達に関する相談を専門スタッフがお受けします。 「お子さんの発達で気になることがあったら」 * 言われていることがわかっていない様子がある。 * 一方的な話し方で、やり取りになり難い。 * 発音がおかしい。 * からだの動きがぎこちない。 * じっとしてられず、すぐ気が散る。 * 友達とうまく関われない、トラブルが多い。 * なんとなく他の兄弟や周りの子とちがう。 など お子さんの様子をお聞きし、専門職による発達の確認を通して関わり方のより良い方法について一緒に考えます。また、必要な場合には達検査を行い療育機関等の支援サービスのご紹介をします。 母子健康手帳・妊婦健康診査受診票の交付、母子医療給付の受付等も行っています。 電話 03-3602-1387（月～金曜日）
担当課	子育て支援部 子ども家庭支援課 電話 03-3602-1386



事業概要 (視察項目)	子育てひろば「いろは」
目的	地域の中で楽しく子育てするために知識・情報を交換できる子育て親子の交流の場
概要	「いろは」は、概ね0歳から3歳のお子さんと保護者の交流や遊びの場としてご利用できます。お誕生会をはじめ、年齢別の集い、月初めの身長・体重測定、ふたごの集い、季節の行事、音楽に関する催しなどを行っております。 子育て情報に関する本や絵本の貸出し、「おもちゃファイル」の閲覧など、家庭でも子育て活かせるように情報提供を行っています。 スタッフは、親御さんに精一杯向き合い、お子さんの成長を共に喜ぶ存在でありたいと、思っております。 —利用にあたって— 登録していただき自由にご参加ください。利用は無料です。 子育て中の悩みの相談にも応じています。 月曜～土曜日 午前9時～午後5時（日曜、祝日、年末年始は休み） 連絡先 住所 葛飾区青戸4-15-14（子ども総合センター内） 電話 03-6240-7591 親子カフェ「アリス」も併設しています。遊びスペースを備え、遊ぶお子さんを見守りながら利用ができます。離乳食、アレルギー対応食をお持ちこみいただけます。 月曜～土曜日 午前10時～午後4時（日曜、祝日、年末年始は休み）
担当課	子育て支援部 子ども家庭支援課 電話 03-3602-1386



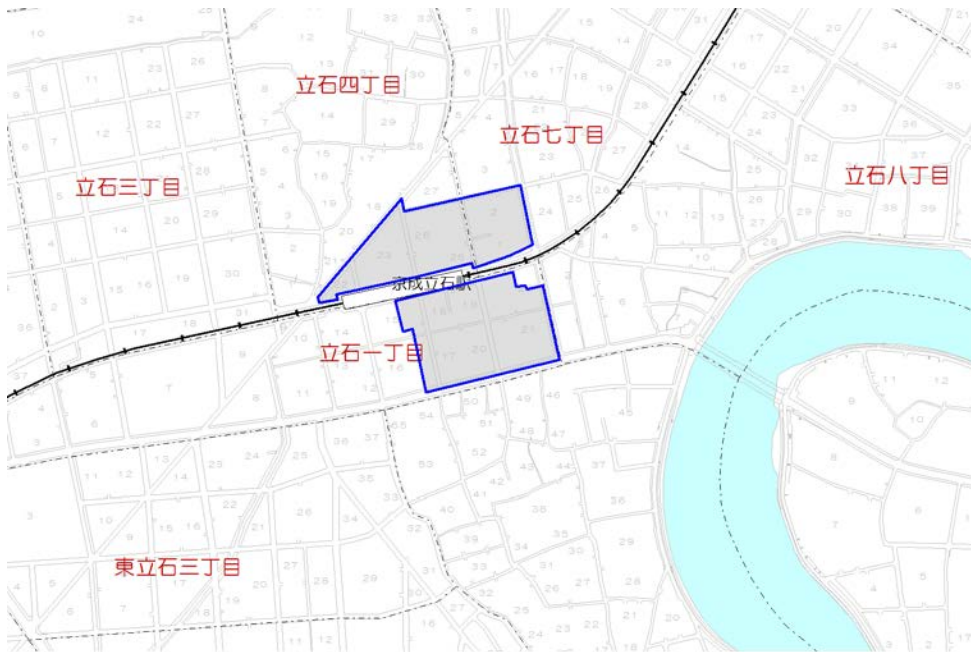
事業概要 (視察項目)	5歳児健康診査事業
目的	発達に課題のある5歳児について、早期発見、早期支援につなげるため、健康診査事業を行っています。
概要	5歳児健康診査事業では、発達・発育に関するアンケートの結果により、今後の対応が必要とされる5歳児に対して発達支援専門員が保育園・幼稚園等に出向いて集団遊びの観察を行います。あわせて受託医療機関における医師の5歳児診察を実施することにより、区と医療機関、療育機関、保育園・幼稚園等の関係機関が連携をして支援を行います。 現在、本区が保育園・幼稚園等で行っている巡回訪問事業（発達に課題がある児童に対して園の職員への助言・指導をする事業）と5歳児健康診査事業を一体的にすすめることにより、発達に課題のある就学前の児童に対して継続的な対応をしています。 
担当課	子育て支援部 子ども家庭支援課 電話 03-3602-1388

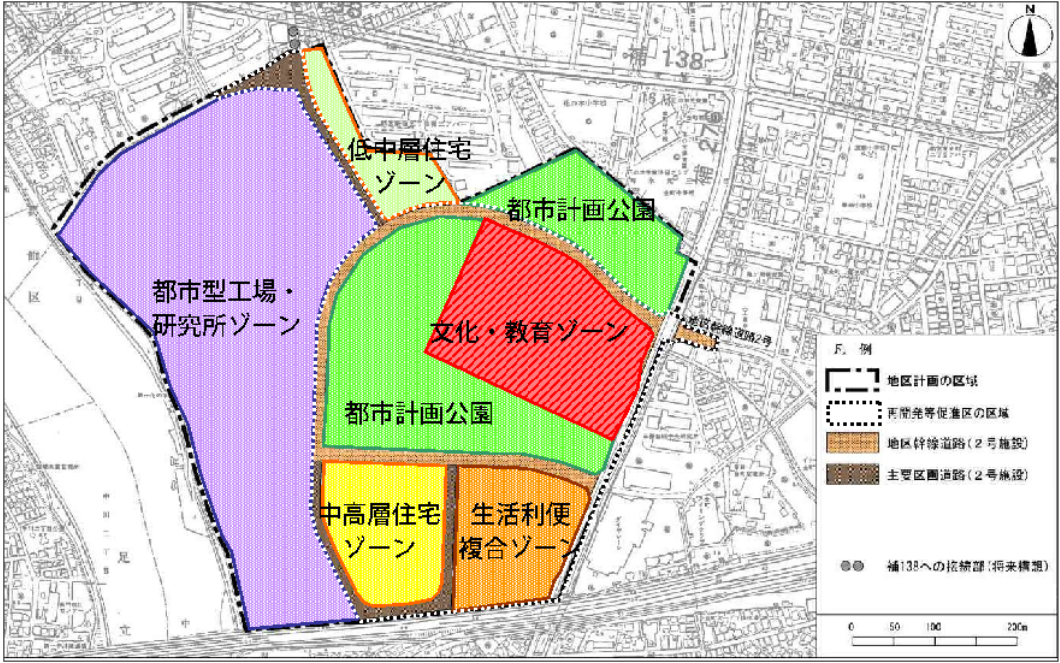
事業概要 (視察項目)	葛飾区都市計画マスタープラン
目的	このマスタープランは、葛飾区基本構想に掲げる「水と緑ゆたかな心ふれあう住みよいまち」の実現を都市空間整備の面から支え、まちづくりの目標、整備構想及び実現方策を示した、葛飾区都市計画に関する基本的な方針である。
概要	葛飾区都市計画マスタープランは、「安心して住み憩い働き続けられる川の手・人情都市かつしか」をまちづくりの目標に、20 年後の本区の将来像を展望した計画として、平成 13 年 7 月に策定した。 しかしながら、この間に国や東京都において、「地球温暖化」や「少子高齢化」など、社会状況の変化に対応した新たなまちづくりの施策が示されるとともに、本区では、大規模な土地利用転換が図られるなど、まちづくりを取り巻く状況は大きく変化している。 さらに、今般の東日本大震災では、想定外の大規模被害が発生するなど、新たな震災に対する取り組みが求められている。 こうしたことから、平成 20 年より区民参加のもと改定の取り組みを進め、平成 23 年 7 月に目標年次を平成 42 年（令和 12 年）とした新たな「葛飾区都市計画マスタープラン」に改定した。 ・第 1 章 葛飾区のまちづくりの主要課題 ・第 2 章 都市計画マスタープランの基本方針 ・第 3 章 全体構想 ・第 4 章 地域別構想 ・第 5 章 都市計画マスタープラン実現の方策 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/information/1000084/1006017/1006171.html
担当課	都市整備部 都市計画課 電話 03-5654-8372、8382

事業概要 (視察項目)	金町駅周辺の街づくり
目的	金町駅周辺の道路等の基盤整備や駅の改修等により交通結节点機能を向上させるとともに、商業・生活サービス機能の充実やそれらと調和した安全な住環境の整備を進め、広域複合拠点としての都市機能の充実・強化を図ります。
概要	金町駅周辺地区では周辺開発に伴う人口や駅利用者の増加により、理科大学通りの歩道や北口駅前広場の狭さが顕著となり、歩行者等の安全性が低下しています。また、歩行者空間の不足や利用者の回遊が乏しいことから駅周辺のにぎわい低下が懸念されます。こうした状況を踏まえ、地区の将来像の実現に向け、より具体的な取組を示した『金町駅周辺地区まちづくりプラン』を令和3年6月に策定いたしました。 リンク先： http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003628/1026630.html ■金町駅南口地区 以前の金町駅南口は、駅前交通広場と国道6号線を結ぶ幅員11mの区道のみで、朝夕の交通混雑は激しく、駅北側への通行は、駅東側にある幅員4.5mの北向き一方通行の区道のみでした。 また、当地区は商業地区にありながら、接道条件の悪い、老朽化した木造住宅が集積し、南口商店街の人通りも少なく、防災上、また生活環境としても更新が求められている地区でした。このため、市街地再開発事業による都市基盤整備等により、駅利便性の向上を図り、賑わいと活力のあるまちづくりに取り組んでいます。 詳しくは、下記のアドレスでご確認ください。 ○金町六丁目地区第一種市街地再開発事業（完了） リンク先： http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003628/1003650.html ○金町六丁目駅前地区第一種市街地再開発事業 リンク先： http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003628/1003649.html ■金町駅北口地区 金町駅北口周辺地区は、JR金町駅を中心とした交通結节点機能と、駅前商店街や大規模店舗等による商業集積により、本区北部地域の広域複合拠点として大きな役割を担っています。しかしながら、当初住居系市街地として開発されたこともあり、現在では、駅前広場や道路、歩行者空間などが必ずしも十分な機能を果たしているとはいえない状況です。 そこで、金町駅北口周辺地区の街づくりについては、駅前広場等の都市基盤整備により交通結节点機能の向上と新たな賑わいの創出を図り、広域複合拠点としての都市機能の充実を目指します。 また、当該地区における課題やニーズを踏まえ、区の街づくり用地を有効に活用し、東金町一丁目西地区第一種市街地再開発事業の施行により、土地の高度利用を図りつつ、建物更新による防災性の向上、および良好な住環境と魅力的な商業環境を整えた複合市街地を形成に取り組めます。周囲の特性や環境等に配慮しつつ、既存の道路に面したオープンスペースの創出を行い、地域の核となる、皆様に愛される施設づくりを目指していきます。現在、組合設立が認可されており、今後のスケジュールは以下のとおりです。 R4年度：権利変換計画認可、R7年度：I期先行オープン、R12年度：全体オープン 街づくりの検討にあたっては、金町駅北口周辺地区まちづくり協議会や地域の方々と協働して街づくりを推進します。 ■エリアマネジメントの推進 令和3年度にまちの魅力や賑わいの継承・創出を目的とした金町駅周辺地区におけるエリアマネジメントの内容検討や、運営組織の支援を行いました。令和4年度は、にいじゅくみらい公園を活用した社会実験イベントの開催支援及びエリアマネ団体の法人化に向けた支援を行います。
担当課	都市整備部 都市計画課 金町街づくり担当係 電話 03-5654-8376

事業概要 (視察項目)	新小岩駅周辺の街づくり
目的	「葛飾区都市計画マスタープラン」(平成23年7月改定)で広域複合拠点として位置付けられている新小岩駅周辺の開発を、地域住民と協働で推進していくもの。
概要	(1) 新小岩駅周辺の現況 新小岩のまちは昭和3年に開設されたJR新小岩駅を中心に発展し、JR総武本線快速電車が停車することによる都心へのアクセスの利便性の高さ(東京駅まで13分)や、葛飾区南部方面及び江戸川区からのバス路線のターミナル機能を有するなど、本区の南の最重要拠点として賑わいを見せています。しかしながら、駅周辺は鉄道(JR総武本線、JR貨物線)や平和橋通りによって4地区に分断されており、駅周辺の一体的な拠点形成が阻害されている状況にあります。 (2) 新小岩駅周辺の整備方針 「葛飾区都市計画マスタープラン」(平成23年7月改定)では、金町駅周辺とともに、新小岩駅周辺を商業・業務・教育・文化など多様な都市機能により広域から人を集めるとともに、区民の多様なニーズに応える機能を持ち、葛飾区の魅力・活力の創出をけん引する役割を持つ「広域複合拠点」としています。 また、新小岩駅周辺は広域複合拠点として「4つの広場や自由通路の整備推進、安全で快適な回遊空間の形成など、総合的な都市基盤、環境整備を図りながら、都市機能の充実を進める」ことが位置づけられています。 (3) 街づくりの推進 上記の方針を踏まえ、新小岩駅周辺では「北側地区」「東北地区」「南口地区」「東南地区」「新小岩一丁目西部地区」の5地区で新小岩南・北地域まちづくり協議会が中心となり、地区別街づくり計画を策定しました。さらに、5地区の街づくり計画を取りまとめた「新小岩駅周辺地区街づくり基本計画」を策定しました。策定した計画を実現していくため、引き続き、具体的な街づくりの事業化を検討してまいります。 (4) 基盤整備の状況 東北地区では、東北広場を含む補助第330号線・区画街路第2号線や新小岩東北自転車駐車場の整備を、南北の駅前広場ではバリアフリー改修等工事を行いました。 新小岩駅南北自由通路は、平成30年6月に暫定開通しておりますが、令和5年の全線開通に向けて引き続き整備を進める予定です。 また、東南地区では、令和2年に着手した地下機械式の公共自転車駐車場が令和4年9月に開設する予定です。 メーカーホームページによる 地下機械式公共自転車駐車場(イメージ図) (5) 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003628/index.html
担当課	都市整備部 都市計画課 新小岩街づくり担当係 電話 03-5654-8331

事業概要 (視察項目)	高砂駅周辺の踏切対策に伴う街づくり
目的	高砂駅周辺の交通利便性や防災性を向上させ、魅力と活力ある生活拠点を形成することを目的に、地元住民によるまちづくり勉強会の支援を行い、鉄道立体化と一体となったまちづくり計画を作成します。
概要	京成高砂駅付近の踏切は、ピーク時の遮断時間が40分以上にも達する「開かずの踏切」です。この踏切は、永年にわたり地域の発展を阻害し、交通渋滞を引き起こしているばかりでなく、歩行者の安全性や利便性の観点からも大変深刻な状況を招いています。 こうした踏切問題の解決に向け、区及び関係機関は地元住民の方々のご協力のもと、高砂駅周辺の交通利便性や防災性を向上させ、魅力と活力ある生活拠点を形成していくことを目的に、連続立体交差化の検討を契機とした地域主体のまちづくりを推進するため、地元のまちづくり活動の支援を行っています。  高砂1号踏切 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003628/1003657.html
担当課	都市整備部 都市計画課 高砂地域整備担当係 電話 03-5654-8344

事業概要 (視察項目)	立石駅周辺地区街づくり
目的	京成押上線の連続立体交差事業を契機として、防災性・利便性・快適性の向上と、商業の活性化を図ることにより、「活力と魅力にあふれた立石」の実現を目指して、まちづくりの検討を行っています。
概要	〈地区の現況〉 立石駅周辺地区は、道路等の都市基盤が未整備のまま市街化したため、細街路が多く、老朽した家屋が密集して建っています。連続立体交差事業の実施を契機に、防災性や居住環境の向上、商業環境の改善によるまちの活力向上など、様々な課題の解決が望まれる地域です。 〈対象範囲〉 立石一、四、七丁目の一部  〈まちづくり検討区域面積〉 約 4.5 ヘクタール (北口地区：約 2.2 ヘクタール、南口地区：約 2.3 ヘクタール) 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003628/1003653.html
担当課	都市整備部 都市計画課 立石駅周辺地区街づくり事務所 立石駅北街づくり担当係 電話 03-5670-3174

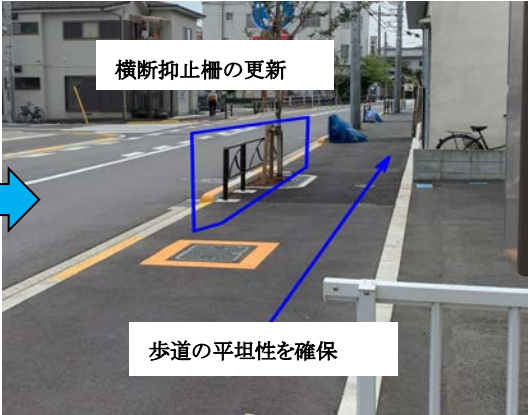
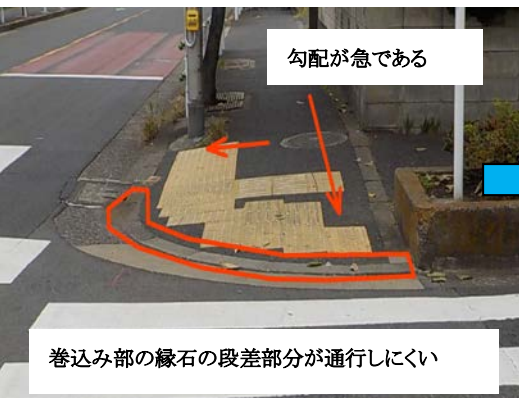
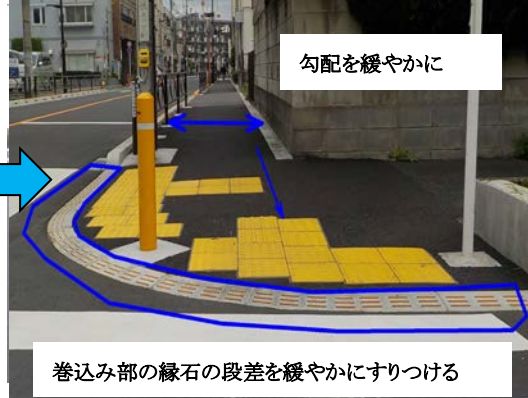
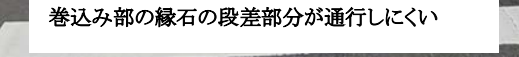
事業概要 (視察項目)	新宿六丁目地区の街づくり
目的	金町駅周辺や南水元地区などの周辺市街地と連携しつつ、新たな生活拠点の形成及び工場と住宅などが共生する良好な都市環境を備えた複合開発市街地の形成を図ります。
概要	街づくりに様々な影響を与える大規模工場跡地開発であり、地区計画制度や用途地域の変更などにより、大学を核として、地区の特性を生かした街づくりを進めています。 当該地区では、大学の開学に合わせた道路や公園などの基盤整備を行ってきました。今後も民間事業者等と連携、協力して、まちづくり方針に基づく街づくりの実現を目指します。 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 (新宿六丁目地区まちづくり方針) リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003629/1003661.html (新宿六丁目地区地区計画) リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003629/1003662.html 
担当課	都市整備部 都市計画課 地域街づくり担当係 電話 03-5654-8332

事業概要 (視察項目)	堀切地区の街づくり
目的	地域住民と協働し、堀切菖蒲園などの地域資源や歴史・文化などを活かした、安全で快適な魅力ある街づくりを目指す。
概要	堀切地区は木造建築物の密集する地域であり、災害に対する脆弱性が度々指摘されています。また、当地区は京成線堀切菖蒲園駅を中心として、古くからの個人商店を多く抱える地域ですが、近年はその商業にも陰りが見え、さらに当地区は区内でも少子高齢化の顕著な地域でもあることから、地域の活性化の観点からも課題のある地域です。 京成本線荒川橋梁架替事業を大きな契機として、地元の方々により立ち上げられた「堀切地区まちづくり推進協議会」が、平成22年3月「堀切地区まちづくり構想」を策定しています。 さらに、令和4年3月には、堀切菖蒲園駅周辺のまちづくりの主な取組を示した「堀切菖蒲園駅周辺まちづくり構想」を策定しています。 今後も、堀切地区まちづくり推進協議会では、「堀切地区まちづくり構想」にもとづくまちづくりを実現するために、活発な活動を続けています。  写真：京成本線荒川橋梁 堀切地区の街づくりの概要は、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000060/1003609/1003632/1003682.html
担当課	都市整備部 都市計画課 密集地域整備第三係 電話 03-5654-8599

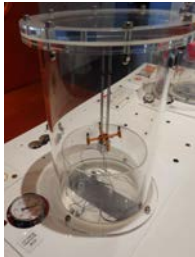
事業概要 (視察項目)	防災街づくり（東四つ木、四つ木、東立石、堀切地区）
目的	木造住宅密集地域の狭い道路を拡幅し、防災活動拠点（公園）などを整備することで、災害時の避難、救助、消火活動を円滑に行えるようにし、防災性の向上と居住環境の改善を図る。
概要	<事業概要> 本地区は狭隘な道路が多く、老朽した木造住宅が密集するなど、地震による建物倒壊や、火災による延焼の恐れ等の危険性が非常に高い状況となっています。 住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）を実施し、主要生活道路の拡幅整備、防災活動拠点や小広場の整備を行うことで、災害に強い街づくりを推進しています。 <事業地域> ・東四つ木三、四丁目（平成 10 年度事業実施）（平成 25 年 12 月 5 日不燃化特区指定） ・四つ木一、二丁目（平成 15 年度事業実施）（平成 25 年 4 月 26 日不燃化特区指定） ・東立石四丁目（平成 20 年度事業実施）（平成 26 年 4 月 1 日不燃化特区指定） ・堀切二丁目周辺及び四丁目地区（平成 27 年度事業実施）（平成 26 年 4 月 1 日不燃化特区指定） <事業内容と効果> （１） 主要生活道路の拡幅整備  （事業前） ➔  （事業後） （２） 防災活動拠点の整備  （３） 小広場（ポケットパーク）の整備 
担当課	都市整備部 都市計画課 密集地域整備第一係、第二係、第三係 電話 03-5654-8345

事業概要 (視察項目)	地盤の液状化対策
目的	地震がもたらす地盤の液状化現象について区民が正しい知識を身につけ必要な対策を講じ、生活の拠点である住まいが沈下や傾斜により使用できなくなることを防止する。これにより、安心して住み続けられる街づくりを推進する。
概要	【窓口相談・説明会】 地盤の液状化による住宅の被害を軽減させるため、区で作成した液状化パンフレットを活用して窓口相談や説明会で情報提供を行う。 【地盤調査費助成】 建築敷地の地盤状況を把握し、必要に応じて対策の検討を促すために、住宅の新築や建替えの際に地盤調査や液状化判定調査に要する費用の一部を助成する。 (助成限度額 35 万円) 【液状化対策費助成】 地盤の液状化による住宅の被害を軽減させるため、液状化対策に要する費用の一部を助成する。(助成限度額 90 万円) 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000059/1003399/1017885.html
担当課	都市整備部 建築課 建築安全係 電話 03-5654-8553

事業概要 (視察項目)	都市計画道路の整備
目的	①活力 ～都市活力の強化～ ②防災 ～都市防災の強化～ ③暮らし ～安全で快適な都市空間の創出～ ④環境 ～都市環境の向上～
概要	葛飾区内には、計画路線も含めて約 92 kmの都市計画道路があり、その完成率は約 69%です。葛飾区では、22 箇所、7,042mの事業認可を取得し事業を進めています。（令和 4 年 6 月現在） 東京都と本区を含めた区市町は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」を平成 28 年 3 月に策定しました。平成 28 年度から令和 7 年度までの 10 年間で優先的に整備する路線として、葛飾区内においては 15 路線 18 区間、延長約 8,810mを選定しました。 この整備方針に基づき、都市計画道路の整備とあわせて無電柱化を推進します。 無電柱化の必要性 ・ 安全で快適な歩行空間の確保 ・ 道路の防災性の向上 ・ 良好な景観形成や観光振興 無電柱化のイメージ （出典：国土交通省 HP 無電柱化の手法） 都市計画道路補助第 264 号線 （細田東区間） 整備前 （幅員 9.0m） ↓ 整備後（令和 4 年 5 月） （幅員 18.0m）
担当課	都市整備部 道路建設課 電話 03-5654-8389

事業概要 (視察項目)	歩道勾配改善事業
目的	「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づく道路の移動円滑化整備ガイドラインに沿って、既設の歩道を改修することによって、高齢者、障害者等、誰もが安全で快適に通行できる歩行空間を確保する。
概要	(開始時期) 平成 12 年度 (対 象) 既にマウンドアップ型の歩道が整備された道路のうち、公共施設や駅等を結ぶ道路、高齢者や障害者等の通行が多い道路約 20 kmを選定。 (手 法) 歩道をセミフラット型に改修。歩道勾配を横断方向で 1 %程度、縦断方向で 5 %以下として、歩道の平坦性を確保する。 (施工例) 令和 2 年度 堀切八丁目地区 (改善前・後の写真)      
担当課	都市整備部 道路補修課 電話 03-5654-9583

事業概要 (視察項目)	葛飾区の公園づくり
目的	区民のニーズや地域特性を踏まえ、多くの人々に親しまれ、憩いの場となる公園を整備する。
概要	葛飾区では、身近に四季の花や緑を感じられる憩いと安らぎの空間など、小さいお子様からお年寄りまで、みなさまに利用しやすい公園づくりを心がけています。 令和4年4月現在、区内には公園・児童遊園を合わせると317か所あります。  小菅西公園  葛飾にいじゅくみらい公園  堀切菖蒲園  西新小岩五丁目公園 詳しくは、区公式サイトをご覧ください。 リンク先 http://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000059/1003408/1003554.html
担当課	都市整備部 公園課 電話 03-3695-8380

事業概要 (視察項目)	葛飾区科学教育センター「未来わくわく館」
目的	子どもたちの理科への興味関心を高め、科学的な考え方を育むことを目的として、整備いたしました。
概要	本施設は、気軽に見て、触れて、操作ができる体験型展示装置を備え、体験を通して科学への驚きや気づきが得られる施設です。また、東京理科大学葛飾キャンパス内の図書館棟1階という立地を生かし、大学との連携を深め、様々な共同事業を展開しています。 1 展示室（令和元年9月に展示物一部改修） ・空気ラボ 竜巻・台風・強風・真空・風の力などの実験・体験ができます。 ・水のラボ 3種類のポンプを動かし、位置エネルギー・渦・水流などの実験・体験ができ、ジャンボシャボンやバブルリングなど実験・体験ができます。 ・光のラボ 鏡の不思議・光の不思議・ストロボ映像装置などの実験・体験ができます。 ・音のラボ（新設） スピーキングラボで離れたところと通話ができる実験・体験ができます。 ○リニューアルした展示物（代表例）  沈むボール  ジャンボシャボン  空気のバスケット  真空中のドローン  スピーキングラボ 2 実験室・工作室 本格的な設備・備品を備えた実験室と工作室です。様々な実験・観察・工作イベントを実施しています。  
担当課	教育委員会 指導室 教育振興係 電話 03-5654-8573

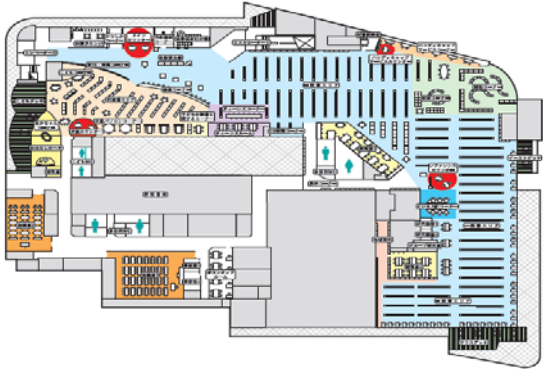
事業概要 (視察項目)	ポニースクールかつしか
目的	幼児から中学生（障害児は 20 歳まで）までの異年齢の子どもたちが、ポニーの世話や乗馬、子ども同士、スタッフとの交流を通して豊かな人格形成を図ることを目的としています。
概要	事業内容 1 引き馬 内容 係員が引く馬で馬場内を 1 周乗馬する 対象 3 歳から小学生まで 2 個人教室 (1) 健常児対象教室 内容 準備体操、マラソン、ポニーの世話、馬小屋掃除や餌作り、馬場整備等の軽作業、特別学習、乗馬 対象 区内在住又は在学の小・中学生（登録制） ・ 小学 1 年生から中学 3 年生までが参加していますが、乗馬技術、学年等を考慮し、レベル別に 7 クラスに編成しています。 ・ 小学 3 年生までは、軽乗というアクロバット乗馬を、小学 4 年生からは部班（1 人で手綱を持つての乗馬）も取り入れています。  (2) 障害児対象教室（パートナーアニマル） 内容 準備体操、ポニーの世話、馬小屋掃除や餌作り、馬場整備等の軽作業、乗馬 対象 区内在住又は在学の小学生から 20 歳まで（登録制） ・ 初心者には引き手（リーダー）1 名、場合によって補助 1 名の 2 名がつきます。この補助の支え手は、親・ボランティアまたは健常児教室の上級レベルの子が手伝っています。また一緒に遊んだりしています。 3 団体教室（健常児団体、障害児団体） 内容 準備体操、ポニーの世話、馬小屋掃除、乗馬 対象 中学生以下の団体（幼稚園、保育園、特別支援学校、障害児団体 等） 4 特別事業 区民感謝乗馬デー、子どもまつり、クリスマスホースショー、卒業生お祝い会
担当課	教育委員会 地域教育課 電話 03-5654-8482

事業概要 (視察項目)	葛飾区郷土と天文の博物館
目的	博物館資料の展示や各種講座を通じて、郷土「かつしか」の歴史や文化・自然等を学び地域への理解・関心・郷土愛の醸成を図る。加えて、プラネタリウムや講座を通じて、最新の宇宙・科学の情報を発信し、宇宙への夢を育み、科学への関心と興味を高め、科学教育の促進を図る。
概要	最新のプラネタリウムで 宇宙の果てまでの旅を楽しむ 「葛飾区郷土と天文の博物館」のプラネタリウムは、レンズを使って星を写す「光学式」とCGで宇宙を表現する「デジタル式」が融合したシステムです。 平成30年6月のリニューアルで、それぞれ最新の機器に更新するとともに、音響設備や座席も一新し、ゆったりとした空間で、今までよりも鮮明で美しい映像と音で、宇宙への旅が楽しめます。また、合わせて天文展示室もリニューアルを行い、デジタルサイネージにより常に最新情報を提供できる展示室に生まれ変わりました。 オリジナル番組の制作と生解説 最新の宇宙・科学の情報を基にした季節ごとに変わる「季節の番組」を年間4本制作しています。また、全てのプラネタリウム番組を生解説で放映しています。 科学教育の普及の取組み 子どもの「宇宙への夢を育み、科学への関心と興味を高める」ことを目的として、プラネタリウムを活用した「かつしか宇宙塾」シリーズや「星の学校」を開講しています。また、区立小中学校を始め、区外の私立高校や幼稚園・保育園などに天体の学習の場として広くご利用いただいています。 区民ボランティアとの協働 郷土分野、天文分野合わせて4つのボランティア団体と協働し、様々な事業の企画・運営、調査研究などを行っています。 ※なお、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業を一部休止しています。 郷土の展示 平成3年の開館以来初となる、郷土展示室の改修を行い、令和2年11月にリニューアルオープンしました。新展示は、古代から現代まで時間軸に沿った編年展示であり、時代の流れを追って葛飾の歴史を紹介する展示内容となっています。中世は、葛西城跡から発掘された資料などを展示しています。近世は、花の新名所として脚光を浴びた堀切の花菖蒲を中心に、花菖蒲栽培の道具や図譜類を展示しています。さらに、浮世絵などの絵画資料はデジタル化した画像や映像を、音楽とともに鑑賞できるシステムを導入し、見て聞いて楽しめる展示を展開しています。また、多くのお客様に区の歴史を学んでいただけるよう、展示室のバリアフリー化を行いました。 詳しくはこちらから https://www.museum.city.katsushika.lg.jp/
担当課	教育委員会 生涯学習課 郷土と天文の博物館 電話 03-3838-1101

事業概要 (視察項目)	かつしか郷土かるた全区競技大会
目的	子どもたちが、葛飾の自然や文化、歴史等が盛り込まれた「かつしか郷土かるた」で競技をすることを通じて、ふるさと葛飾についての知識や理解を高め、郷土愛の醸成を図るとともに、地区同士の交流を深める機会とするために、各地区の代表者を集めた「全区競技大会」を開催する。
概要	・主催 葛飾区・葛飾区教育委員会 ・協力 葛飾区青少年育成地区委員会 (第10回全区競技大会に選手を出場させる地区) ・日時 令和5年2月25日(土) 10時～16時(予定) ※2部制での開催予定 ・会場 テクノプラザかつしか 2階 大ホール(葛飾区青戸7-2-1) ・出場資格 各青少年育成地区委員会主催の競技大会で選出された選手、または、会長推薦の選手で、各地区以下の部の1チームずつが出場資格を得る。 【小学校3年生の部】 3年生のみで構成された3人1組のチーム 【小学校4年生以上の部】 4～6年生で構成された3人1組のチーム ・実施方法 (1) 競技の種目と選手数 ①競技の種目 各地区競技大会で選出された3人1組が対抗して行う団体競技 ②選手数 各地区最大2チーム(上記6にあるふたつの部から各1チーム) (2) 競技方法 事前に決定された組み合わせのもと、全3試合を行う。 順位は、勝敗数で決定する。勝敗数が同点の場合は、①総取り札点数、②シンボル札「く」の取った回数、③最終試合の取り札点数の多い順で決定する。 ルールは、「かつしか郷土かるたの遊び方～競技大会用ルール～」を用いる。 (3) 審判員・読み手 葛飾区青少年育成地区委員会代表者 葛飾区教育委員会推薦の者 (4) 賞状・賞品 各部の1～3位に賞状と賞品を、また、6位までに賞状を贈呈する。
担当課	教育委員会 生涯学習課 電話 03-5654-8474



事業概要 (視察項目)	葛飾区東金町運動場スポーツクライミングセンター
目的	本施設は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技種目であるスポーツクライミング3種目（リード・スピード・ボルダリング）の競技施設を整備し、区民の気運を醸成しながら、スポーツに親しみ、健康づくりに取り組むことができる施設として、令和2年4月に完成しました。
概要	1 所在地 葛飾区東金町八丁目31番1号 2 開館時間 9:00～21:00 3 休館日 毎月第2水曜日 4 施設概要 (1) ボルダリング棟（屋内） 建築面積 565.50 m² 鉄骨造 地上1階建て ボルダリングウォール高さ5m、幅30m 諸室：事務室、更衣室、シャワー室、 トイレ、器具庫  (2) クライミング棟（屋外） 築造面積 215.31 m² 鉄骨造  リードウォール：高さ16m 幅12m（4レーン） スピードウォール：高さ16m 幅6m（2レーン） ※IFSC(国際スポーツクライミング連盟)認定 
担当課	教育委員会 生涯スポーツ課 電話 03-3691-7111

事業概要 (視察項目)	葛飾区立中央図書館
目的	中央図書館は、平成 21 年 10 月に J R 金町駅前の複合施設 3 階にオープンしました。駅前の立地を生かし、誰もが利用しやすいようにワンフロアでユニバーサルデザインを取り入れ、夜間・年末年始も開館しています。また、当館では、自動貸出機・自動返却機・自動予約棚を設置し、貸出・返却の効率化、座席予約システムの導入、館内の所定エリアでの公衆無線 LAN の利用やオンラインデータベースの提供など、充実した I T 環境を整え、利用者の多様なニーズに対応しています。さらに、地域の貴重な資料保存のため、デジタル化と公開にも取り組み、「かつしかデジタルライブラリー」として全国に発信しています。
概要	1 施設概要 所在地 葛飾区金町六丁目 2 番 1 号 ガイシ金町プライコート 3 階 構造規模 鉄骨・鉄筋造 床面積 5,077.85 m² 蔵書数 約 42 万冊 座席数 450 席   2 開館時間・休館日 開館時間 月～土曜日 9 時～22 時 日, 祝, 12 月 29・30 日 9 時～20 時 12 月 31 日～1 月 3 日 9 時～17 時 休館日 毎月第 4 木曜日（祝休日の場合は翌日） 特別整理期間 3 館内エリア 一般書エリア、児童書エリア 新聞・雑誌コーナー、ティーンズコーナー、 ビジネス I T コーナーなど  
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	葛飾区立立石図書館																								
目的	立石図書館は、かつしかエコライフプラザとの複合施設として、平成 23 年 6 月 30 日にリニューアルオープンしました。 立石図書館は、駅から近いという利便性を生かして、夜間開館時間の延長や予約棚・自動貸出機を導入したセルフシステムなど、新しい時代のニーズに対応し、データベースが利用できるインターネットパソコンやビジネス支援コーナーを設置し、働く方を支援する施設として生まれ変わりました。																								
概要	 1 施設概要 <table> <tr> <td>所在地</td> <td>葛飾区立石一丁目 9 番 1 号</td> </tr> <tr> <td>構造規模</td> <td>R C 造 地上 4 階建て</td> </tr> <tr> <td>床面積</td> <td>1,426 m²</td> </tr> <tr> <td>蔵書数</td> <td>約 11 万冊</td> </tr> <tr> <td>座席数</td> <td>190 席</td> </tr> </table> 2 開館時間・休館日 開館時間 <table> <tr> <td>月～土曜日</td> <td>9 時～22 時</td> </tr> <tr> <td>日, 祝, 12 月 29・30 日</td> <td>9 時～20 時</td> </tr> <tr> <td>12 月 31 日～1 月 3 日</td> <td>9 時～17 時</td> </tr> </table> 休館日 毎月第 4 木曜日（祝休日の場合は翌日） 特別整理期間   3 館内エリア <table> <tr> <td>1 階</td> <td>図書館カウンター 新聞・雑誌・CD コーナー</td> </tr> <tr> <td>2 階</td> <td>児童室</td> </tr> <tr> <td>3 階</td> <td>地域資料コーナー レファレンスカウンター ヤングアダルトコーナー ビジネス支援コーナー</td> </tr> <tr> <td>4 階</td> <td>ビジネスパソコンコーナー 閲覧席</td> </tr> </table>	所在地	葛飾区立石一丁目 9 番 1 号	構造規模	R C 造 地上 4 階建て	床面積	1,426 m ²	蔵書数	約 11 万冊	座席数	190 席	月～土曜日	9 時～22 時	日, 祝, 12 月 29・30 日	9 時～20 時	12 月 31 日～1 月 3 日	9 時～17 時	1 階	図書館カウンター 新聞・雑誌・CD コーナー	2 階	児童室	3 階	地域資料コーナー レファレンスカウンター ヤングアダルトコーナー ビジネス支援コーナー	4 階	ビジネスパソコンコーナー 閲覧席
所在地	葛飾区立石一丁目 9 番 1 号																								
構造規模	R C 造 地上 4 階建て																								
床面積	1,426 m ²																								
蔵書数	約 11 万冊																								
座席数	190 席																								
月～土曜日	9 時～22 時																								
日, 祝, 12 月 29・30 日	9 時～20 時																								
12 月 31 日～1 月 3 日	9 時～17 時																								
1 階	図書館カウンター 新聞・雑誌・CD コーナー																								
2 階	児童室																								
3 階	地域資料コーナー レファレンスカウンター ヤングアダルトコーナー ビジネス支援コーナー																								
4 階	ビジネスパソコンコーナー 閲覧席																								
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201																								

事業概要 (視察項目)	葛飾区立奥戸地区図書館
目的	奥戸地区図書館は、平成 23 年 4 月 2 日に南奥戸小学校内の余裕教室を活用して開館しました。 明るい雰囲気の館内では、学校のチャイムが聞こえ、児童書エリアの壁面には南奥戸小学校の児童さんの作品が展示されるなど、小学校ならではの雰囲気を感じることができ、地域の皆様に親しまれている図書館です。
概要	1 施設概要 所在地 葛飾区奥戸三丁目 5 番 1 号 南奥戸小学校内 構造規模 RC 造 床面積 306 m² 蔵書数 約 4 万冊 座席数 29 席  2 開館時間・休館日 開館時間 火～木・土・日曜日 10 時～17 時 金曜日 10 時～20 時 休館日 毎週月曜日、毎月第 4 木曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）  特別整理期間 3 館内エリア 一般書エリア、児童書エリア 新聞・雑誌コーナー、ヤングアダルトコーナー、新刊・特集コーナー
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	葛飾区立こすげ地区図書館
目的	こすげ地区図書館は区内13番目の図書館として平成28年3月26日にこすげ小学校の敷地内にオープンしました。 南側に窓を大きくとり、照明の位置も書架の間になるよう工夫し、明るい館内で本選びを楽しめるようにしています。えほんコーナーは靴を脱いであがるスペースになっており、床暖房を設置して寒い日も暖かい日も窓辺で絵本を楽しめます。
概要	 1 施設概要 所在地 葛飾区小菅3丁目8番22号 こすげ小学校内 構造規模 軽量鉄骨造 1階建て 床面積 404.19㎡ 蔵書数 約3万冊 座席数 34席 2 開館時間・休館日 開館時間 火～木・土・日曜日 10時～17時 金曜日 10時～20時 休館日 毎週月曜日、毎月第4木曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日～1月3日) 特別整理期間   3 館内エリア 一般書エリア、児童書エリア えほんコーナー、新聞・雑誌コーナー、ヤングアダルトコーナー、特集コーナー
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	葛飾区立にいじゅく地区図書館
目的	平成 29 年から休館していた「新宿図書センター」が令和 3 年 6 月 2 日に東京かつしか赤十字母子医療センター内にオープンしました。 病院内の区立図書館という全国でもめずらしい特性を踏まえ、児童書や子育て関連の本を充実させ、子供を迎える・育てる家族にとって知りたい情報を提供してまいります。
概要	1 施設概要 所在地 葛飾区新宿 3-7-1 東京かつしか赤十字母子医療センター内 構造規模 耐震構造 S 造 + S R C 造 地上 5 階建 西側 1 階部分 床面積 246.22 m² 蔵書数 約 2 万冊 座席数 8 席  ▲病院外観  ▲えほんコーナー 2 開館時間・休館日 開館時間 月～日曜日・祝休日 9 時～17 時 休館日 毎月第 4 木曜日（祝休日の場合は翌日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）、特別整理期間 ▼一般書エリア 3 館内エリア 一般書エリア、児童書エリア、雑誌コーナー、特集コーナー（東京かつしか赤十字母子医療センター院長おすすめ本） 
担当課	教育委員会 中央図書館 電話 03-3607-9201

事業概要 (視察項目)	子ども区議会
目的	次代を担う小・中学生に、議会制民主主義への理解と区政への関心を深めてもらうとともに、小・中学生たちから見た区に対する要望や意見を聴取し、今後の区政の参考とする。
概要	＜開始年度＞ 平成9年度 ＜対 象＞ 小学5年生から中学3年生 ＜募集人数＞ 15名程度（令和3年度から新型コロナウイルス感染症対策として、募集人数を縮小している） ＜事業日程＞ 5月 募集（広報紙・ホームページなどへの掲載及び区立小・中学校を通して児童・生徒へのチラシ配布） 8月 事前学習会（全員） 10月 事前打ち合わせ会（議長・委員長・決議文作成委員） 12月 子ども区議会開催（2学期終業式当日に開催） 3月 子ども区議会会議録配布 ＜当日の流れ＞ 14時 本会議開会 15時30分 本会議休憩 委員会開会 16時30分 本会議再開 子ども区議会決議 17時 本会議閉会 ＜経費＞ 約27万円 （記念品代、子ども議員飲料代、傷害保険料他） 
担当課	総務部 すぐやる課 電話 03-5654-8448 （教育委員会事務局 指導室 電話03-5654-8471）

事業概要 (視察項目)	開かれた議会への取組
目的	議会情報を積極的に発信し、議会活動と区政の周知拡大を図るとともに開かれた議会への取組を進めている。
概要	1 ホームページにおける情報公開 (1) 議会年間予定 一年間の議会予定を年度当初に公開している。PDFファイルでダウンロードも可能で、日程の詳細の決定・変更などは適宜に同サイトでお知らせする。 (2) 議長交際費 「葛飾区議会議長交際費の支出基準」をはじめ、議長交際費の支出状況を公開している。各月ごとの内訳と内容一覧もPDFファイルでダウンロードが可能。 (3) 委員会の行政視察報告 各常任委員会及び議会運営委員会が行っている行政視察の報告を、PDFファイルで公開している。 (4) 会議のネット中継 本会議及び予算審査特別委員会（総括質疑・採決）、決算審査特別委員会（採決）を生中継でライブ配信し、録画中継はオン・デマンド配信を行っている。平成26年8月からは、スマートフォン、タブレット端末にも対応。また、庁舎区民ホールの大モニターで、本会議の生中継を来庁者向けに行っている。 (5) ホームページの多言語化 使用している端末（パソコン、スマートフォンなど）の言語設定（108カ国語）に合わせて自動翻訳されるサービスを導入している。 2 委員会傍聴者への資料提供 常任・特別委員会の傍聴者に対して、当日の委員会の内容がより分かりやすいように、委員と原則同じ資料の閲覧を行っている。委員会終了後、希望者はコピー（有料）が可能。 3 会議の公開 本会議、常任・特別委員会、議会運営委員会などの公式会議を公開としている。傍聴ならびに会議録の閲覧ができる。
担当課	区議会事務局 議事調査担当係 電話 03-5654-8503